

使いやすさ、快適さに自信の製品!!

深く、ぬかるんだ超湿田でも
効率の良い作業が可能に!

New フルクローラトラクター

YT225A,C
YT233A,C

最高出力
25~33ps



YT225A,C

人の足が深く沈んでしまう湿田でも
沈まずに作業できます。

フルクローラトラクターは接地圧が低いので、走破性が高く、
ホイールトラクターやハーフクローラトラクターでは入れなかつ
た湿田でも作業が行えます。



商品ページへ

はじめてお使いの方でも
扱いやすいコンパクトボディ。
快適な操作でしっかり除雪ができます。

小型除雪機
JSシリーズ

最高出力
8.5~9.5ps



JS1071CT,R

握り式緩急サイドクラッチ

軽く握って旋回しやすい。

レバーの握り込み量に応じて、なめらかに大
回り・小回りの調節ができます。少ない力で
ラクに作業できます。



商品ページへ



動画はコチラ

TOMBO CROSS
Number 05



Number
05

Yanmar Publication
from 2022

TOMBO CROSS

YANMAR

人と農業とテクノロジーの交差点、トンボクロス

【トンボクロス No.05】
発行：ヤンマーアグリ株式会社「トンボクロス編集部」
〒530-0014 大阪府北区鶴野町1-9 TEL.06-6376-6264

YANMAR Agri-Press ヤンマーのメールマガジン

＼旬の情報が盛りだくさん!／

NEW ヤンマーの新品 新着動画 お役立ち情報 etc...

会員登録無料

メールマガジン会員大募集中! 登録無料

ヤンマーのメールマガジン「YANMAR Agri-Press」は旬の情報が盛りだくさん! 農業機械の新品情報や新着動画、お役立ち情報などを配信しています。皆様のご登録を、お待ちしております。

登録はコチラ

YANMAR ONLINE EXPO Winter 2022.11/1 - 2023.3/31

大人気のオンライン展示会が今冬も開催!

開催期間 / 2022年11月1日(火) ~ 2023年3月31日(金)

HPはコチラ

オンライン商談実施中!

ヤンマーでは、製品購入を検討中の方に、ご自宅にいながら商談いただける「オンライン商談」を実施しています。ヤンマーホームページより簡単に、お申込みいただけます。

HPはコチラ

ヤンマー ホームページ yanmar.com

ヤンマーアグリ 公式facebookページ

ヤンマーアグリ製品やサービスをご紹介「ヤンマー農業チャンネル」 YouTube チャンネルはコチラ

ヤンマーアグリ株式会社

〒702-8515 岡山県岡山市中区江並428
yanmar.com

掲載内容について

- メーカー希望小売価格は、10%の税込み価格です。一部地域において輸送費等により価格が異なる場合があります。
- 本誌で紹介している写真にはオプションを含む場合があり、また希望小売価格掲載仕様とは異なる場合があります。
- 本誌の内容は予告なく変更する場合があります。



CLOSE UP!

YT3R直進アシスト仕様で、
春作業をもっとラクに、
高効率に高精度に!

先進農業事情

TECHNOLOGY スマート農機の導入で労力軽減、作業効率アップを実現。

BUSINESS

新規就農1年目から積極的に機械化を推進。
高収益な農業の確立と食品ロスの削減を目指す。

- 01 — **CLOSE UP!**
誰でも簡単、まっすぐ作業!
YT3R直進アシスト仕様で、
春作業をもっとラクに、高効率に高精度に!
- 09 — **先進農業事情**
TECHNOLOGY
スマート農機の導入で労力軽減、
作業効率アップを実現
- 11 — **BUSINESS**
新規就農1年目から積極的に機械化を推進
高収益な農業の確立と食品ロスの削減を目指す
- 13 — **機械化最前線**
スマート農業の取り組み
ロボットトラクターで耕うん回数の多い
じゃがいもの耕起作業がより高精度に
- 15 — **密苗の取り組みレポート**
苗箱数約6,000枚の削減を実現、
厚播きで収量アップにも成功
- 17 — **気なるKNOWS農TOPICS**
カーボンニュートラルに向けて
私たちができることは
- 19 — **ヤンマーのサービスマンが行く!!**
シーズン前の点検ポイント(トラクター)
- 21 — **メーカー探訪**
次代に向けて進化しながらお客様のための
ものづくりをブレることなく追求
キャニコム
- 23 — **情報広場**
子実とうもろこし栽培のススメ
- 24 — **ヤンマー企業紹介**
ヤンマーeスター株式会社
- 25 — **みんなの相棒**
- 26 — **トンボ会メーカーいち押し商品**

営農支援情報誌「トンボクロス」の
バックナンバーをHPからご覧いただけます。

https://www.yanmar.com/jp/agri/knowledge/tombo_cross.html

HPはコチラ



CLOSE UP!

誰でも簡単、まっすぐ作業! YT3R直進アシスト仕様で、 春作業をもっとラクに、 高効率に高精度に!

直進アシストとは?

衛星からの位置情報を取得し、設定通りに
手放して直進作業ができる機能を備えたトラクターです。

直進アシスト ON 自動で直進

直進時は、ハンドル操作が不要!

手放して、まっすぐ走行するので、余裕を持って
仕上がりを確認しながら作業ができます。



直進アシスト OFF 手動で旋回

旋回時は、ハンドルを切るだけ!

旋回時、ハンドルを操作するだけで
直進アシストがOFFになり、作業機も上昇します。



直進アシスト ON 自動で直進

旋回後は、作業機昇降スイッチを押すだけ!

旋回後は、作業機昇降スイッチを押すと作業機が下がり、
直進アシストもONになります。



“直進アシスト仕様が注目されている理由”

ハンドル操作をしなくても
自動でまっすぐ進む

だから

- 長時間作業も疲れにくい
- 高効率・高精度に作業ができる
- 不慣れな方でも簡単に作業ができる

作業幅やラップ幅を
設定できる

だから

- 重複作業や未耕地が減り、ムダ・ムラを防止、コスト削減につながる
- 高効率な作業ができる

作物の収量や品質を大きく左右する「土づくり」などの春作業は
移植や播種までの短い期間に集中して行う必要があります。
しかも、規模拡大や労働人口の減少、天候不順などにより
さらに効率が良く、精度の高い作業が求められています。
そんな春作業の相棒としておすすめしたいのが「直進アシストトラクター」です。
今号では代表的な8つの春作業をもっとラクに、高効率に、高精度に行うための
YT3R直進アシスト仕様の機能をご紹介します。

代表的な春作業

- | | | | |
|-------------|-----------------|------------|-------------|
| 01 あぜ塗り P05 | 02 うね立て P05 | 03 耕うん P06 | 04 肥料散布 P06 |
| 05 溝掘り P07 | 06 反転耕起・粗起し P07 | 07 代かき P08 | 08 草刈り P08 |

SMARTPILOT
YT3Rシリーズ
直進アシスト仕様



HPはコチラ

- | | | |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| YT330R(J)
30PS | YT333R(J)
33PS | YT338R(J)
38PS |
| YT345R(J)
45PS | YT352R(J)
52PS | YT357R(J)
57PS |

SMARTPILOT®(スマートパイロット)は、位置情報やロボット技術などのICTを活用して
農作業の省力化・効率化、高精度化を実現する自動運転技術を搭載した農業機械シリーズの総称です。



YT3R 直進アシスト仕様ならではの機能をご紹介します

基準線の作成が簡単

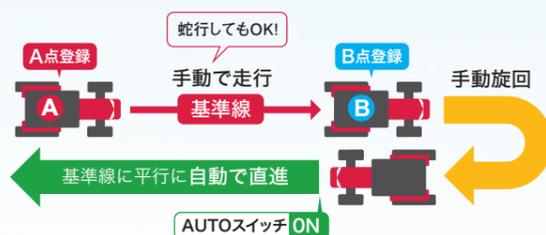


直進アシストで自動走行する時には、経路を決めるための基準線をつくります。基準線は2つの方法で、簡単に作成できます。



1 基本の基準線のつくり方

ほ場の端と端でA点・B点を登録し、基準線を設定する方法です。基準となるA点からB点を手動で走行して基準線を登録すれば、次工程からはAUTOスイッチを「ON」にするだけで基準線に平行に自動で直進します。



2 作業をしながら基準線をつくる

作業しながらA点・B点を登録する方法です。A点を登録後、5m以上走行してB点を登録+AUTOスイッチを「ON」にすると、延長線上を自動で直進します。作業をしながら基準線の登録ができ、時間をムダにせず基準線が作成できます。



作業幅・ラップ幅の設定が可能



作業幅や作業に最適なラップ幅を設定できるので、重複や未耕地を減らして、効率アップが図れます。



- 作業内容に応じた5パターンが設定可能



- モニターに経路が表示されるので、どこまで作業できたかが一目瞭然



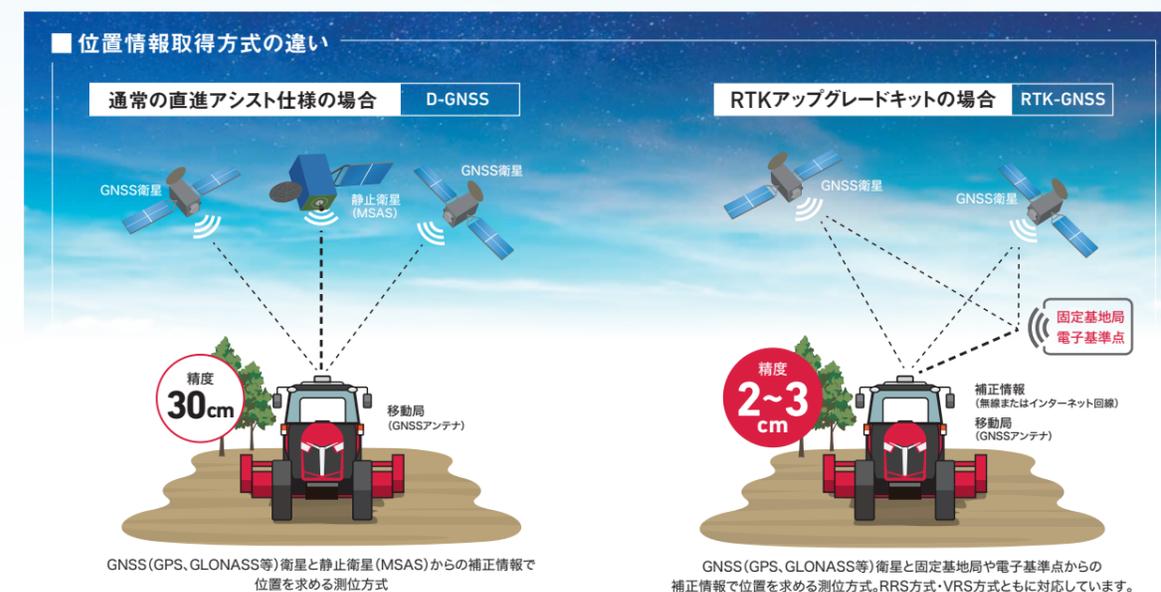
※作業したところは塗りつぶし表示

RTKアップグレードキット オプション



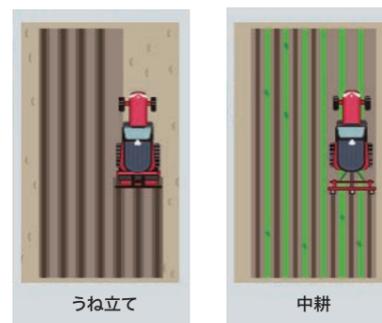
RTKアップグレードキットは、より高精度なRTK-GNSS方式の位置情報を取得できるオプションです。特にまっすぐ、高精度な作業が求められる「あぜ塗り」や「うね立て」作業に最適です。

- 高精度±2~3cm
- 0.2km/hからの低速作業が可能



※オプションを装着する場合、別途取付工賃が発生する場合があります。
※「RTK」とは、「リアルタイムキネマティック」の略です。地上の基地局を利用した位置情報データを、リアルタイムで活用する技術です。

- 基準線を登録しておけば時期や作業が違っててもその基準線を使って同じ位置で作業ができる(最大28件まで登録可能)



時間が経過しても基準線の位置のズレが少ないので、例えばうね立て、播種時に基準線を登録すると、中耕作業時でも同じ基準線の使用が可能。同じ位置で自動直進作業が行えます。





YT3Rとベストマッチな作業機は
こちらのホームページから
ご覧いただけます。



春作業 01

あぜ塗り

『**低速で、まっすぐ**』に作業を行うことが、
硬く丈夫で均一なあぜをつくるポイントです。

あぜ塗りの
動画は
コチラ

RTKアップグレードキット(オプション) 推奨



**四隅のあぜ塗りの
後進作業も自動できれいに!**
後進も自動で直進するので、
四隅も手放して、最後までまっすぐ
あぜが塗れます。



直進アシスト仕様なら

- 片側に重心が寄っても自動でまっすぐ進みます。
- 手放して直進するので、ゆとりを持って
仕上がりを確認・調整しながら作業ができます。
- 後進も自動で直進するので、
あぜの四隅もきれいに仕上げることができます。
- 0.2km/h~の低速作業でしまったあぜが
つくれます(*)。

さらに **YT3Rは、ノークラッチ無段変速。
最適速度で作業できるから**

- あぜ塗りに最適な速度で作業ができるので、
効率良く硬くしまったあぜが
つくれます。
- 速度調整した際もショックがないので、
段差がつかず、きれいに仕上がります。

※RTKアップグレードキットの場合

春作業 03

耕うん

『**最小限のラップ幅**』で『**まっすぐ**』作業を行うことが、
効率的に、仕上がりのきれいな耕うん作業を行うポイントです。

耕うん
の動画は
コチラ



直進アシスト仕様なら

- 作業幅・ラップ幅を設定できるので、
隣接耕も正確に経路が決まります。
- 作業幅・ラップ幅を設定できるので、
重複部分を減らし、効率良く作業ができます。
- 手放して直進するので、ゆとりを持って
仕上がりを確認・調整しながら作業ができます。

さらに **YT3Rは、ノークラッチ無段変速。
最適速度で作業できるから**

- 変速時にショックがないので、きれいに仕上がります。

しかも **YT3Rは、A/Bモード自動切替。
操作の手間を省けるから**

- 作業と旋回時の車速とエンジン回転が自動で
切り替わり、効率良く、低燃費な作業ができます。

春作業 02

うね立て

『**まっすぐ、等間隔**』に作業を行うことが、生育ムラが少なく、
後の管理作業もしやすいうねを立てるポイントです。

うね立て
の動画は
コチラ

RTKアップグレードキット(オプション) 推奨

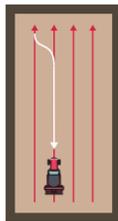


作業開始も簡単!
一旦停止しても、すぐに自動で直進を
再開できるので、シートをセットして
土をかけたら、作業再開とともに
すぐに直進がスタート。



直進アシスト仕様なら

- 自動でまっすぐ等間隔に進むので、
きれいなうねが簡単にできます。
- 手放して直進するので、ゆとりを持って
仕上がりを確認・調整しながら作業ができます。
- 後進も自動で直進するので、
前・後進を繰り返すワンウェイ作業も
効率良く行えます。



さらに **YT3Rは、
ノークラッチ無段変速。
最適速度で作業できるから**

- うね立てに最適な速度で作業ができるので、
効率良くきれいなうねが
つくれます。
- 速度調整した際もショックがないので、
段差がつかず、きれいに仕上がります。

春作業 04

肥料散布

『**適正量をムダ・ムラなく散布**』することが、
肥料代を抑え、生育ムラの少ないほ場づくりのポイントです。

肥料散布
の動画は
コチラ



直進アシスト仕様なら

- 一定の間隔をあけて作業ができるので、
散布の重複や未散布などの
ムダ・ムラを防止できます。
- 自動で直進するので、長時間作業も疲れにくく、
オペレータの負担を軽減します。
- モニターに散布済み部分が
塗りつぶし表示されるので、
作業跡が見えにくい肥料散布も安心です。

さらに **YT3Rは、ノークラッチ無段変速。
最適速度で作業できるから**

- 思い通りの速度調整で、効率良く作業ができます。



YT3Rとベストマッチな作業機は
こちらのホームページから
ご覧いただけます。



春作業 05

溝掘り

『あぜに沿って、まっすぐ』に溝を掘ることが、排水性の高い溝掘りのポイントです。

溝掘りの動画は
こちら

RTKアップグレードキット(オプション) 推奨



四隅の溝掘りの
後進作業も自動できれいに!
後進も自動で直進するので、手放して、
四隅まできれいに溝が掘れます。



直進アシスト仕様なら

- 高精度に自動でまっすぐ作業ができるので、あぜを崩さずにあぜ際に溝を掘る難しい作業も、簡単に行えます(※)。
- 後進も自動で直進するので、あぜの四隅までまっすぐな溝を掘ることができます。
- あぜ塗りで登録した基準線を使って、簡単に自動でまっすぐ溝を掘ることができます(※)。
- 登録した基準線を流用して同じ位置で溝掘りすることで、溝に落ちた土も取り除けます(※)。



※RTKアップグレードキットの場合

春作業 07

代かき

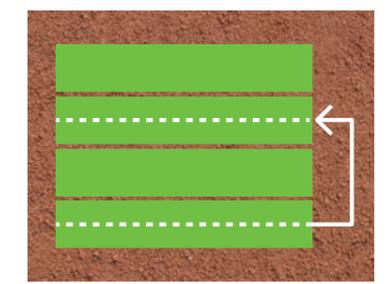
『重複や未耕地の少ない』作業を行うことが、作業時間の短縮や田植えに適したほ場に仕上げるポイントです。

代かきの動画は
こちら



直進アシスト仕様なら

- 作業幅・ラップ幅を設定できるので、未耕地なく重複部分を減らし、効率良く作業ができます。
- モニターに経路が表示されるので、目視ではわかりにくい1本飛ばしも、設定通りに作業ができます。



春作業 06

反転耕起・粗起こし

『最適速度でまっすぐ』作業を行うことが、高効率な作業のポイントです。

反転耕起の動画は
こちら

粗起こしの動画は
こちら



直進アシスト仕様なら

- 作業幅・ラップ幅を設定できるので、未耕地なく重複部分を減らし、効率良く作業ができます。
- 手放して直進するので、ゆとりを持って仕上がりを確認・調整しながら作業ができます。

さらに **YT3Rは、ノークラッチ無段変速。最適速度で作業できるから**

- 思い通りの速度調整で、仕上がりを確認しながら効率良く作業ができます。

春作業 08

草刈り

『刈り残しなくきれい』草刈りすることが、病害虫の発生を抑えるポイントです。

草刈りの動画は
こちら



直進アシスト仕様なら

- ハンドル操作が不要なので、刈り取り位置の調整や作業中の安全に集中できます。
- 自動で直進するので、不慣れなオペレータでも、ムラなくきれいに草刈りができます。
- 後進も自動で直進するので、前・後進を繰り返すワンウェイ作業も効率良く行えます。



TECHNOLOGY

スマート農機の導入で 労力軽減、作業効率アップを実現。

三重県鈴鹿市
株式会社モリファーム

三重県鈴鹿市で土地利用型農業*を展開する株式会社モリファーム(以下、同社)は、スマート農機をいち早く導入し、労力軽減や作業効率アップを図っておられる。スマート農業のメリットについて代表の森和彦氏にお話をうかがった。

*土地利用型農業とは、広大な土地(ほ場の面積)を活用し、水稲などの穀類、加工原料作物などの生産を行う農業生産方式。

営農データ



株式会社モリファーム

代表取締役 森和彦氏

- 主な栽培作物：水稲43ha、大豆40ha、小麦50ha、菜花3ha、ごま3ha、子実コーン3ha
- 栽培規模：約142ha

実需者のニーズに応える 農業を実践

三重県北部に位置し、土地利用型の稲作、野菜栽培が盛んなことで知られる鈴鹿市。同市に拠点を置く同社も、水稲、大豆、小麦を中心に、ごまや子実コーンなど幅広い作物を栽培しておられる。米は卸業者との契約栽培がメインで、主に給食などの業務用ルート向けに多収性の品種を栽培。同時に飲食店・個人向けに減農薬・減化学肥料の米も栽培されている。「販路によって実需者が求める品種を着実に栽培し、供給することがモットー」と語ってくれたのが、代表の森氏だ。

森氏が就農したのは今から約20年前のこと。水稲と麦を合わせて5haのほ場から始め、土地利用型農業の拡大とともに約28倍の142haまで営農規模を拡大してこられた。6次産業化にも取り

組まれており、特にごまは、収穫から乾燥、選別までを機械化され、国産ごまとしては国内でもトップクラスの取り扱い量を誇るという。2017年には法人化され、現在は5名の従業員を雇用。「他の生産者と比べても、スマート農機の導入はかなり早かったと思う」と、スタッフの労力軽減・作業効率の向上を図るため、積極的にスマート農業に取り組んでこられた。

労力を軽減し、ロスも軽減する 可変施肥機能の効果を実感

現在はトラクター9台、乗用管理機2台、コンバイン4台、田植機2台を所有。特にオート田植機YR8Dは、スマート農機の導入率が高い鈴鹿地域の中でも最初期に導入され、愛用しておられる。誤差数センチというRTK-GNSS測位方式を採用するYR8Dは、直進・旋回を自動で行えるため



同社が活用されている自動操舵機能は大豆などの播種でも活躍している。直進作業はハンドル操作不要でまっすぐ自動で直進し、旋回時のハンドル操作も不要なため、長時間の作業時も負担が大幅に軽減される。

「まっすぐ植付けることだけに集中する必要がないから、視界を広く保てるし、何より作業者の負担が減りました」と高く評価されている。リモートセンシングで作成した生育状況データを活用して可変施肥機能も使用されており、生育の均一化や収量・品質の安定化はもちろん、ムダの削減を実感。「田植機がスリップした際も施肥量を補正してくれるから、肥料のロスが本当に減りました」と信頼を寄せられる。



「森さまはスマート化へのアンテナが非常に高い」とヤンマー担当者。



「土地利用型農業はある意味で設備産業」(森氏)と語るように、可変施肥や自動操舵といったスマート化に対応するヤンマー機を多数導入。



また「ヤンマーの技術の中で一番」と森氏が評価される密苗に対応している点にも満足しておられ、計画的に苗が使えるようになり、苗の廃棄ロスが大幅に減少されたという。さらにオプションの箱施肥用剤散布機も導入。農作業を受託されることもある森氏は、密苗と慣行苗の両方を扱われる。1箱ではなく1反当たりの施肥量が設定できる箱施肥用剤散布機によって、その都度施肥量を計算する手間から解放されたという。

自動操舵は営農全般において 不可欠な技術に

YR8Dだけでなく、YT470と2台のEG105にGNSSガイダンスシステムGFX750を搭載するなど、トラクターにも自動操舵を導入されている。野菜のうね立て時には、うねを等間隔につくることができ、播種を含むその後の一連の作業が効率的になったそうだ。また代かきには最も効果を感じておられ、作業時間を1/3近く短縮することができたという。「代かきの自動操舵は、ほ場面積が大きいほど効果を実感できます。自動操舵を使わずとも、隣、隣と正確に進めていけば理論的にはズレはありません。でも実際に水を張ったほ場では次の位置の見極めが難しいこともあり、同じ位置を2度かいてしまうことも多かったんです」と森氏。

自動操舵の導入後は、直進・旋回ともにズレがなくなり、労力・時間ともにロスを削減。また、スタッフに対するトラクター操作の指導・教育にかかる時間と手間が軽減されたことも、経営者であ

る森氏にとってはメリットが大きかった。他にも、2条飛ばしに旋回を大きくとるなどコース設定も簡単に行えるため、旋回に要する時間を最小限にとどめることができ、枕地を傷めることも少なくなったという。「当社にとって自動操舵はなくてはならない技術。先日の通信障害で一時的に自動操舵が使えなくなった時には何もできず、改めて価値を実感しました」。

収益性アップや経費削減に つながるスマート農業に期待

積極的なスマート農業の取り組みによって作業効率を高め、順調に営農規模を拡大してきた同社。しかし「今後も地域で離農があれば当社が引き受けることはあると思いますが、それは私たちが計画できることではありません。これまで以上に多収性の水稲を増やしていくなど、あくまでも自分たちの目の届く範囲の中でやっていくことが理想です」と、今後は規模拡大よりも、農地当たりの収量をいかに増やしていくかにトライしていかれると



自社ブランドのもち麦茶(写真)をはじめ、6次産業化にも取り組む。「製品はおいしいから売れる時代ではない。いかに付加価値を高められるかが大切」(森氏)。

いう。そのため今後のスマート農機にも、より収益性の向上、経費の削減につながる技術が開発されることを期待しておられる。さらに、将来は農産物の直売所を開設する計画もあるという。「農業は食べる人とつくる人の接点が少ない業種です。まだ具体的ではありませんが『こんなものが食べたい』『これがおいしい』という声を直接聞ける場所があれば」と語る森氏。消費者のニーズをつかみ、スマート農業に取り組むことによって最適な方法でカタチにし、供給する。そんな理想の農業の実現に向かって、今後も邁進していかれるのだろう。(取材・文 岡本成正)

ハンドル操舵の自動化で、 誰でも簡単に、 正確な作業ができる!

熟練者に近い作業が行えるだけでなく、軽労化や、夜間作業のアシストなど日々の作業をサポートします。

自動操舵システム



モニター
GFX-750

GNSS受信機
NAV-900



自動操舵ハンドル
APEMD/EZ Pilot Pro



HPはコチラ

BUSINESS

新規就農1年目から積極的に機械化を推進。
高収益な農業の確立と食品ロスの削減を目指す。

千葉県野田市
誠豊開発株式会社

千葉県野田市で建設関連事業を営む誠豊開発株式会社(以下、同社)は、2021年より新たに農業事業に参入した。農業未経験から事業を立ち上げ、機械化を積極的に推進しながらさつまいも無農薬栽培に取り組む農業事業責任者の中野あずさ氏に、就農の経緯や事業への想いをうかがった。

営農データ



誠豊開発株式会社
取締役 中野 あずさ氏

- 主な栽培作物：さつまいも
- 栽培規模：約1.5ha

「AIに奪われない仕事」を求めて
農業未経験から
さつまいも栽培をスタート

千葉県野田市で無農薬のさつまいも栽培を行っている同社は、2021年に入社された中野あずさ氏が中心となって農業事業への新規参入を果たした。中野氏はもともと都内で会社員として勤務し、1日14～15時間働く多忙な毎日を送られていた。ある時、今ある職業の6割がAIや機械化によってなくなるという説があることを知り、自分の働き方に疑問を感じられた中野氏。この先も残る仕事は何かと考えた時、「食べ物をつくる仕事だけはなくなる」と就農を決意された。

中野氏から進路について相談を受けた弟の雄大氏も、以前から日本は食糧自給率が低いにも関わらず、日々大量の食品ロスが発生している矛盾した状況に危機感を抱いており、「どうにかしたい」

という想いから農業事業への参入を模索。雄大氏が立ち上げた同社の取締役に中野氏を迎える形で、農業事業をスタートされた。とはいえ、東京出身の中野氏は土に触れた経験がほとんどなく、まずは同社の拠点がある野田市役所のアドバイスに従って日本農業実践学園の3か月コースに入学。修了後は農地を確保し、学園で学んださつまいも栽培を始められた。「さつまいもは手間があまりかからないので初心者にも取り組みやすく、焼き芋やスイーツなど加工もしやすいので、食品ロスの軽減にもつながると考えました」。

機械の進化が
女性の農業を後押し

農業事業の発足当時について「トラクターで畑までたどり着けない、ひとりで軽トラに管理機を載せられないレベルからのスタート」と振り返る中野氏。近隣の生産者から運転方法や畑までの安全な道などを教わりながら、徐々に農業機械に慣れかされた。「私が女性ということもあってか、トラク

農業参入初年度から機械を随時導入。実践の中で機械の活かし方を見極め、効率化を図ってこられた。



ターを運転しているだけで褒められることもありました。でも現在メインで使用しているYT221はオートマ感覚なので初心者でも運転が簡単。作業機の付け替えも、クイックヒッチがあるので私ひとりでも楽々です」とトラクターの操作にも自信がうかがえる。特にクイックヒッチは「女性にとってなくてはならないぐらい大切な機能です」と高く評価していただいた。「重たいものを持つこともたまにはありますが、思いのほか機械がやってくれることが多いので、昔に比べれば女性でも農業がしやすい環境が整っているのでは」と語ってくれた。

うね立てから収穫まで
機械化一貫体制を確立

営農開始直後にYT221を導入された中野氏。ヤンマーについて、当初はエンジンや機械系に強いメーカーというぐらいの認識だったが、野田市の特販店(株)竹塚機械店とご縁から、これまで5台のヤンマー農業機械を導入されている。「竹塚機械店さんはご近所なので万が一の場合にも安心ですし、『次はここを機械化したい』『こんな道具

があれば』といったこちらの漠然とした要望に、その都度的確な機械をご提案いただきました」と、厚い信頼を寄せられている。

1年目にYT221+マルチャー、かんしょ移植機PH10A、かんしょつる切機TC110K、ポテカルゴGRA650などを導入。うね立てからマルチ作業、植付け、茎葉処理、収穫と一連の作業の機械化を進めてこられた。「最も重宝したのはポテカルゴGRA650です。掘り上げからコンテナ詰めまで一気にできるので、これがなければ1年目は乗りきれなかったかもしれません」。

無農薬栽培を始めた2年目からは、緑肥として栽培したソルゴーをフレールモアFNC1602で細断し、EG65を使ってすき込んでいる。「フレールモアは根元を刈った後、細断してくれるので、緑肥として分解されるまでの時間が短縮されます。EG65は当社の営農規模では設備過剰にあたるかなと考えましたが、導入してみると馬力が強い分深掘りでき、作業時のストレスがぐっと軽減されました」と、満足しておられる。

事業としての成功を見据えて
積極的に投資

「2年目にしてここまでの設備は早計かもしれないと考えたこともある」という中野氏だが、積極的な設備投資は同社代表の雄大氏の方針でもある。同社は農業を建設に次ぐ事業の柱として捉えており、そのためには機械化によって人件費を削減し、作業効率を高めて一日も早く収益を出さなければならない。また、事業を成長させる上で

不可欠な「若い人材の確保」という点でも、人力の作業を減らす機械化には大きな意義があると考えている。雄大氏は「建設事業でも機械を多数導入していますが、新規に取り組む農業では機械を使ってどの程度効率化できるのか、また機械化すべき点とそうではない点がどこのかは、実際に機械を使ってみないとわからないと考えました。であればなるべく早いタイミングで先行投資する方が良いでしょう。それに投資をしたからには何が何でも回収するという覚悟も生まれます」と、機械化への想いを語られた。

廃棄ロスを減らし、収益性を高めて
農業の可能性を拡げたい

「まだ2日目に入ったばかりですが、東京出身の自分にとって農業の世界は毎日楽しく新鮮です。畑にいと誰かが話しかけてくれたり、差し入れをいただいたり、今では『トラクターに乗っている人同士はみんなお友達』という感覚です」と充実した表情を見せられる中野氏。今後はさつまいも

腰をかがめての手植え作業から解放!

国内排ガス自主規制に対応したクリーンエンジン搭載!

歩きながら、かんしょの慣行苗を供給部のブラシに1本ずつ挟み込むだけ。1人でも安定したかんしょ移植を実現しました。

かんしょ移植機

PH10A,KF	PH10A,KN
1畦1条・舟底植え	1畦1条・斜め植え

※かん水装置はオプションです。



動画はコチラ

※動画は旧型機です。



HPはコチラ



「まずはさつまいもをつくれるようになること」という1期目の目標を無事クリアし、2期目からは無農薬栽培にチャレンジ。今後は6次化、ブランディングと夢はさらに広がる、中野あずさ氏と雄大氏(右上写真)。

スを採用ラインに乗せることが最優先の課題だ。また機械への投資だけでなく干し芋加工場の建設にも着手しており、2023年中の稼働を目指しておられる。「青果として出荷できるさつまいもはA品のみなので、1年目はB・C品を自分たちで消費し、余った分は廃棄するしかありませんでした。自社で干し芋を製造できる体制ができれば、B・C品を加工に回せるためより多くの収益が見込めますし、うまくブランディングすれば付加価値も高められます。何より農業事業の目的のひとつである『食品ロスの削減』にも貢献できると考えています」と6次産業化に向けての意気込みを聞かせてくださった。

「この2年間は試行錯誤しながら機械化や農地の確保、6次化などに取り組んできました。新規就農ならではの苦労も味わってきたつもりなので、農機のシェアや新規就農者のネットワークづくりなど、若い人たちが就農しやすい環境づくりにも貢献できれば」と中野氏。自身の人生を大きく変えた農業への想いが、今後どのように結実するのか。物語の続きが楽しみでならない。(取材・文 岡本成正)

ロボットトラクターで

耕うん回数の多いじゃがいもの

耕起作業がより高精度に。

福岡県久留米市上津町
農事組合法人 e-FARM久留米

福岡県最大の農業産出額を誇る久留米市で活動する
農事組合法人e-FARM久留米。

長年の課題だった人手不足解消のために導入した
ロボットトラクターの効果についてうかがった。

機能性と作業性が
ロボットトラクター導入の決め手に

e-FARM久留米(以下、同法人)の経営面積は約60ha、請負などを含めると約130ha規模のほ場を管理している。水稻や小麦、じゃがいもなど多品目の栽培を手がけている同法人では、田植えとじゃがいもの収穫が重なる夏場を中心に、人手不足は長年の課題。その解決策のひとつとして2021年にロボットトラクターYT498A(以下、ロボトラ®)を導入された。「とにかくこの時期はじゃがいもの収穫から始まって、田植えまで人が足りない。農繁期はみんな休みがないくらい働いて忙しいので、それを少しでも解消できればと思いました」。

同法人で代表を務めた後、アドバイザーに就任した城戸氏は、実演を含め、各メーカー製品を吟味したうえでヤンマーのロボトラ®を選ばれた。「まずはセンサーが作業する際に邪魔にならないところにあるのが良かったです。あとは機能性と作業性が優れていることと、コストとデザインが良かったので選びました」。さらに、エンジン回転と車速の上限のパターンを設定できる「A/Bモード自動切替」も導入のポイントになったという。またロボトラ®は作業内容や巡回パターンなどを専用のタブレットで設定できる。導入前は「設定通りに動くのか」「ほ場外に出てしまわないか」といった不安もあったという城戸氏だが「使ってみると設定通り動きますし、何かあったらしっかり止まってくれますね」と、当初の不安はすぐに解消されたという。

効率的な耕起作業が可能に

同法人のじゃがいも畑は、土を細かくふかふかになるように仕上げておられる。その分一連の耕起作業にかかる労力・時間はともに大きく、従来では「1人が1日中トラクターを運転しっぱなし」という重労働であった。ロボトラ®の導入後は、オペレータが乗車することなく、運転が自動化されたことで作業効率が大幅に向上したという。「例えば幅が2m40cm



営農データ

農事組合法人 e-FARM久留米
きどりのあき
アドバイザー 城戸紀彰氏

- 主な栽培作物
水稻、裸麦・小麦、じゃがいも、たけのこ、さつまいも、季節野菜
- 栽培規模
約60ha(請負を含めると約130ha)



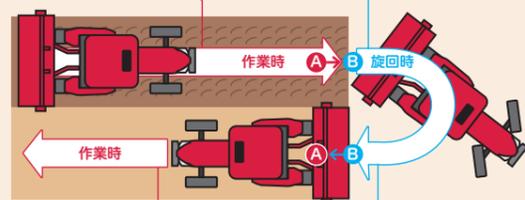
動画はコチラ

のロータリーなら、1m20cm幅は重複させて往復し、仕上げり次第では3回起こすこともあります」。このような丹念な作業も、直進・巡回ともに自動作業が可能なロボトラ®なら楽に効率的にできるのだから。今後についてうかがうと、「ほ場の面積的には現状を維持しながら、人を育てていきたいと思っています。少しずつロボトラ®の活用範囲を広げられるといいですね」と城戸氏。ロボットのをうまく取り込むことで、作業負担の軽減に取り組む姿勢は、まさに機械化最前線といえる。

A/Bモード自動切替とは?

作業時をAモード、巡回時をBモードに設定することで、エンジン回転と作業速度が自動で切り替わり、操作の手間を省き、低燃費&高効率な作業を実現します。

Aモードで作業	ハンドルを切ると作業機が自動的に上がりA→B	Bモードで巡回
A 2.5km/h 2530r/min		A 2.5km/h 2530r/min
B 2.0km/h 1800r/min		B 2.0km/h 1800r/min



Aモードで作業	作業機昇降スイッチで作業機を下げるとB→A
A 2.5km/h 2530r/min	
B 2.0km/h 1800r/min	



メーターパネル

作業:Aモード設定値
巡回:Bモード設定値

e-FARM 久留米 城戸氏

ヤンマー特販店
角美好商会 田中社長

これからのスマート農業についてインタビュー

農事組合法人e-FARM久留米の城戸氏と、ロボトラ®導入をご提案された有限会社 角美好商会代表の田中社長に、導入までの経緯とICTを活用した農業の可能性についてお話をいただいた。



Q ロボトラ®導入の経緯について教えてください

城戸氏: 田中さんと出会ってから5、6年になるでしょうか。
田中社長: そうですね。最初はドローンの導入をお手伝いして、その後がじゃがいもの移植機、管理機もご購入いただきました。そういった取り引きがある中で、ロボトラ®をおすすめしました。ロボトラ®は当時まだ普及していなかったと思いますが、私はその時点でスマート農業やICTの重要性を実感していたこともあり、2台の納入実績がありました。ヤンマーの基地局やランニングコストの仕組みもお話して、その情熱が城戸さんに伝わり導入につながったと思っています。

Q これからのスマート農業について一言

城戸氏: 地域で農業をする人が減り続けていくと、ほ場の数、一枚当たりの面積も拡大していくと思います。そうすると人の力とロボトラ®をうまく使うことが重要になってくると思います。
田中社長: 農業の経験がない人にとって、ICTは最強の味方です。城戸さんがスタッフを教育されるうえでも、ロボトラ®のようにICTを導入することで、手間もぐっと省けると思います。これまでのように経験が少ないために精度良く作業ができなくても、タブレットさえ扱えばできれば、誰もが農業ができるようになる。そんな時代がすぐそこまで来ていると思います。

Q 安心して導入いただくために説明したことは?

田中社長: 城戸さんにはロボトラ®導入時にスマートアシストにも加入していただきました。24時間体制で機械を見守るから安心ですとお伝えしました。
城戸氏: ロボトラ®で困った時はヤンマーのサポートの人にも助けてもらっています。



スマートアシストは、GPSアンテナおよび通信端末を搭載した農業機械から発信される稼働情報などをもとに、お客様の大切な機械を見守り、効率化を図るサービスです。

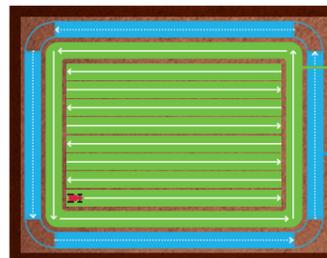
田中社長にうかがいました!
スマート農業の良さを実感したのはどんな時?

別の生産者様の話なのですが、その息子が帰農された直後、やはりトラクターを直進させることができなかったんですね。お父さんにしてみれば「まっすぐ走れば当然」という感覚だから、運転させる機会も少なかったんだと思います。でもある時、補助金が下りる見込みがあったので、私からおすすめしてロボトラ®を購入していただきました。すると、息子さんはITに詳しいこともあって、自分でタブレットを設定し、ロボトラ®で片道200m、面積2haのほ場をサッと起こしてしまっただけから1台のロボトラ®で、80haのほ場を3回起こせるようになったんです。次の年には最大馬力のYT5113も購入されたのですが、その方にお会いするたびに「これまで農業ができなかった人でもできる時代になった」と実感しましたね。

乗りこまなくても、自動で作業ができる。農業の未来を切り開く、ロボットトラクター。

1枚のほ場の9割※1を自動で作業できる!

あぜ際の1~3周※2を除き、ほ場の約9割を自動で作業。あぜ際の回り耕は有人で「枕地直進モード」を使用すれば、自動でまっすぐ作業が可能。大幅に省力化できます。
※1 ヤンマー調べ。ほ場面積0.92ha(122×76m)ロータリー2.4m。※2 ほ場の条件により異なります。



- ロボットトラクターモード
直進も巡回も自動で。あぜ際を残して、自動で仕上げられる。
- 枕地直進モード
あぜ際の回り耕は有人にて自動でまっすぐ作業が行える。変形ほ場にも対応。

SMARTPILOT
ロボットトラクター
YT 488A/498A/
88PS 98PS
4104A/
104PS
5113A
113PS



HPはコチラ



密苗の取り組みレポート

苗箱数約6,000枚の削減を実現、
厚播きで収量アップにも成功

大規模でも 管理作業がラクになった!

全面積を密苗に切り替え、省力化と収量アップを実現された
福島県の有限会社うねめ農場代表 伊東氏に
密苗の成功の秘訣をうかがった。



有限会社うねめ農場
代表 伊東 敏浩氏
地域：福島県
作物：水稲、いちご、大豆
密苗導入面積：108ha

作業の効率化と増収を目指し 3年前に密苗をスタート

福島県郡山市の西部に位置する片平町で、100年以上にわたり農業を営んでこられた「うねめ農場」。現在は9代目の伊東氏が経営を継ぎ、水稲を中心とした大規模経営を行っておられる。お父様の代から規模を拡大してこられたが、ほ場が点在しており、以前から作業の省力化が大きな課題のひとつだった。また、人手不足が進む中で収益を上げるには、コスト削減も必要だった。

7年ほど前からは、省力化の一環として直播や乾籾200g/箱の厚播きにも取り組んでおられたが、思ったようにコスト削減にはつながらなかったそう。



展示会で密苗の伝道師三瓶部長と出会い、意欲が湧いたという。

農場が成長するために必要な「新技術の導入」や「コスト削減、増収」という課題解決に密苗がぴったり当てはまり、とても意欲が湧きました」と伊東氏。

ただ、お父様やベテラン社員からは、昔ながらの慣行苗による作業を変えることに心配の声も上がったそう。「乾籾300g/箱の厚播きはあり得ない、と言われました。でも、密苗という技術が確かにある中で、良いも悪いもやってみなければわかりません。うまくいかなければ改善策を考えれば良いのだから、まずはやってみるしかない」と決意され、ヤンマーとの付き合いが始まった。「ヤンマー担当の古宮さんが、育苗から収穫、収量アップまで全てお手伝いしますのでお任せください、と言ってくれたのが心強かったですね」と伊東氏。



YR8Dに「植付け精度がいい。ここが他社機との違いです」と伊東氏。

前年にはヤンマーのYR8D田植機の実演機を用いて厚播きでの植付け精度を体感されていた伊東氏。収量にも問題がなかったことからコスト削減の効果を高めるため、思い切って全面積で密苗をスタートされた。

育苗の基本を実行し、 葉先がピンと揃った苗に生育

密苗に取り組む中で伊東氏が特に注意されたのが、育苗での温度管理だった。初年度は4月下旬から一気に気温が上がり、葉焼けを起こしそうになってしまったそう。「まだミラーシートを剥がせないし、ハウスを開けると風でシートが飛んでしまいます。そこで通気性の良い不織布シートに変更して焼けを防ぎました」と伊東氏。さらに社員の方々が収集した情報を参考に、次年度からは気温の急上昇に備えて、ハウスに空動扇を設置して熱を逃がすなど工夫を重ねられた。



高温対策のために、ハウスの天井に「空動扇」を設置。

このような「高温対策」と並んで育苗のポイントとなる「育苗ローラーがけ」では、育苗器から出した日の午後一番に育苗ローラーをかけてることが重要となる。芽が小さいうちから



徒長や病気の発生も育苗ローラーをかけて抑制。

重いローラーをかけることにもめらう方も多いが、うねめ農場では、栽培未経験の若手社員が作業を担当したため、先入観もなく思い切ってローラーがけができたそう。また、根張りを重視し、プール育苗からスプリングシャワーかん水に切り替え、「苗上手アクセル(チッ素液肥)」や「苗上手ブレーキ(リン酸液肥)」*などの追肥もかん水と同時にホースで散布でき、健苗育成と省力化の両立につながった。

*苗上手は(株)ミズホの商標です。



かん水チューブで薬剤を同時に散布し、病気予防と省力化。

こうして、育苗の基本となる「温度管理」「育苗ローラー」「追肥散布」の3つを着実に実行されたことで、2年目、3年目ともなると、葉先がピンと揃った芝生のような苗が育ったそう。「最初の2週間は古宮さんが午前と午後、毎日通ってくれて、愛情を持って播種から育苗を手伝ってくれました。ノウハウが豊富で適宜アドバイスをもらえたことも育苗が成功した大きな要因だと思います」。密苗の効果をお聞きすると、「苗箱数が約17,000枚から11,000枚に減ったので、苗

の運搬も田植えも楽になりましたよ。田植機1台につき6名体制だったのが2名体制に減りました。これまで繁忙期は外部から労働力を借りていたけど、今は社内のメンバーだけでできるようになったので、人件費が違いますね」と伊東氏。半日に2回必要だった苗箱の運搬回数も1回に減り、ほ場を行き来する労力と時間が軽減されたそう。田植機は、実演で植付け精度を実感されたYR8Dを最初に導入され、現在までにYR8DとYR8DAで計3台の密苗仕様の田植機を導入いただいている。「爪幅の狭い専用の爪なので、水があってもしっかり植えられて、転び苗がだいぶ少ないです」と評価をいただいた。

対策から改善へのサイクルで さらなる収益アップへチャレンジ

密苗によってコストを削減し、収益アップを実現された伊東氏。2021年からは、全面積で生育ステージごとにこまめな追肥を行ったことで増収の効果も現れたという。「米が値下がりする一方で肥料は高騰しています。追肥による出費のリスクはありますが、増収すればある程度の収益は取れるという経営判断です」。また、基本を忠実にに行えば厚播きでも問題なく育つという確信をお持ちになり、播種量も乾籾約290g/箱に増量。その年の

課題は翌年に対策する、というサイクルで毎年改善を重ねられ、早めの溝切りなど移植後の管理も丁寧に行われたことで、2021年の平均反収は10.2俵になった。「今後は反収11俵、12俵を目指せるのではないかと自信ができました。大規模だからできない、とあきらめないことが大事だと思っています。密苗や機械の導入でムダな仕事が減れば、大規模でも楽に管理ができます。春も秋も楽になれば、こんなに楽しいことはないと思います」と笑顔の伊東氏。見事な稲の姿を見て、これまでとは違う作業方法に抵抗を感じていたベテラン社員も今では納得された様子。最近では密苗を始める地域の方も増えている。一方で若手社員の方々にとっては密苗がスタンダードなので「もっと苗箱を減らせないか」と積極的に取り組んでおられるそう。今後も収量アップや省力化をさらに進め、地域をリードされるに違いない。

(取材・文 山本佳弥)



見事な稲の姿は密苗に取り組んだ3年間の集大成。

ヤンマーの密苗とは

育苗箱当たりの乾籾播種量が通常100~150gのところ、250~300gと高密度で播種。さらに、播種した育苗箱をヤンマー独自の技術で慣行法と同じように3~5本ずつ精密にかき取り、これまでの田植えと同様に正確に移植する技術です。



HPはコチラ

密苗なら
育苗箱数が最大 **1/3**
4,500枚 ▶ 1,500枚
(育苗ハウス:9棟 ▶ 3棟)

省力化
播種・苗運搬時間
最大 **1/3**
195時間 ▶ 65時間

低コスト
育苗資材費
最大 **1/2**
145万円 ▶ 67万円
(育苗箱、培土、ハウス資材)

特別な技術や作業が必要? 管理方法はこれまでとほぼ同様 難しい技術は不要。従来とほぼ同じ方法で管理が可能です。

*水稲30ha経営で、播種量を慣行100g/箱、密苗300g/箱とし試算した場合。

密苗に対応した田植機

田植えのイメージを一新する、
YR-DAシリーズ。

乗用田植機 直進アシスト仕様*

YR 5DA/6DA
5条植え 6条植え
7DA/8DA
7条植え 8条植え

*YR5DAは、ティラーオプション

密苗×ICTで
労力もコストも最小に!

“高精度”な作業で
田植えはこんなに
「ラク」になる。

SMARTPILOT



HPはコチラ

カーボンニュートラルに向けて 私たちができることは。



近年、深刻な問題となっているのが、地球温暖化による気候変動。

ゲリラ豪雨や夏の異常なまでの気温上昇などは、多くの方が実感していることでしょう。

人類がこの地球で住み続けるためには、ひとつの解決策として

私たち一人ひとりがカーボンニュートラル(脱炭素)に取り組み、地球温暖化に向き合っていかなければなりません。

ヤンマーグループでは今年、「YANMAR GREEN CHALLENGE 2050」を発表。

2050年カーボンニュートラルの達成に向けた活動を、より一層強化することを宣言しました。

そこで今回は、カーボンニュートラルが求められるようになった背景と

農業に携わる私たちに求められている脱炭素社会の実現に向けた具体的なアクションをご紹介します。

カーボンニュートラルが求められる背景

カーボンニュートラルとは、地球温暖化の要因である温室効果ガス(GHG)の排出量を実質ゼロにすること。温室効果ガスにはメタン、N₂O(一酸化二窒素)など様々な種類がありますが、なかでも地球温暖化に深刻な影響を与えているのが、CO₂(二酸化炭素)です。CO₂は非常に安定した物質で、一度排出されると、その後100年以上にわたって大気中に留まる性質を持っているので、何らかの対策をしなければ、大気中に残り続け、一旦上がってしまった地球の気温は下がらないということになります。では、地球の気温が上がるとうなるのか。

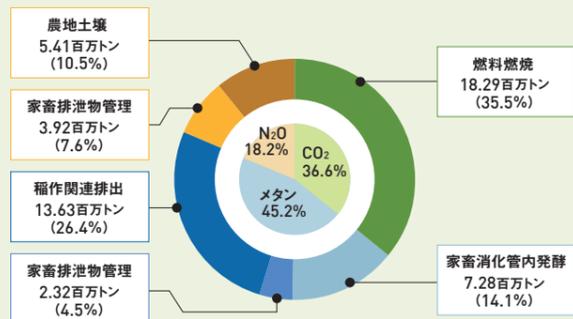
18世紀半ばから起こった産業革命以降、地球の平均温度は約1℃上昇

しています。「たった1℃」と思うかもしれませんが、その結果始まったのが、冒頭で述べた気候変動です。ゲリラ豪雨の増加や熱中症による死者の増加、台風による被害、農作物の成長にも影響が生じています。このまま地球温暖化が続くと、日本は将来亜熱帯気候になると言われており、新たな感染症の流行も危惧されています。さらに、今後も対策が不十分な場合、2081年~2100年には、世界の平均気温が3.3~5.7℃上昇し世界各国でより深刻な被害が生じると予測されています。

人類が地球に住み続けるためには、世界が一丸となって、カーボンニュートラルに取り組み、地球温暖化を食い止めなければならないのです。

カーボンニュートラルに向けた日本の動き

日本の農林業分野のGHG排出量(2017年) 「農林水産分野における環境イノベーションについて」令和元年12月10日 農林水産省より



世界が脱炭素社会に向けて動き出した2015年の「パリ協定」*を受けて、日本も大きく動き出しました。2020年には「温室効果ガスの排出量を2050年までに実質ゼロにする」と宣言され、「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」では、「過去の発想を転換し「経済と環境の好循環」をつくるために積極的にカーボンニュートラルに取り組むことが、新しい時代をリードするグリーン成長戦略だ」と述べています。農業においても、カーボンニュートラルをネガティブに捉えるのではなく、成長のきっかけと捉えて取り組む時がきています。

*「パリ協定」では、「世界的な平均気温の上昇を産業革命以前に比べて2℃より低くすること」「1.5℃に押さえる努力を追求すること」を世界共通の目標としました。

カーボンニュートラルに向けた農業の取り組み

農業界においても、近年、カーボンニュートラルを目指し、様々なイノベーションが起こっています。すぐに取り組めることばかりではありませんが、少しずつ新たな技術や考え方を取り入れることは、農業の持続可能性を向上させるとともに、人類がこの地球に住み続けるためのアクションにもつながっています。近年、国が示した農業における2050年カーボンニュートラルに向けたビジョンについてまとめました。



1 化学農薬の使用低減

低リスク農業への転換、総合的な病害虫管理体系の確立・普及に加え、2040年までに、ネオニコチノイド系を含む従来の殺虫剤に代わる新規農薬などを開発する。2050年には、**化学農薬使用量(リスク換算)を、50%低減することを目指す。**

2 化学肥料の使用低減

肥効調整型肥料*の高度化やAIを活用した土壌診断などの技術を確立し、2050年までに、輸入原料や化石燃料を原料とした**化学肥料の使用量を、30%低減することを目指す。**

*肥効調整型肥料とは、作物の生育タイミングに合わせて効果の期待できる肥料のこと。

3 有機農業取り組み面積の拡大

有機物による土づくりや先端技術による害虫防除技術など、2040年までに主要な品種について農業者の多くが有機農業に取り組めるよう次世代有機農業に関する技術を確立。2050年までに、**耕地面積に対し有機農業の取り組み面積を25%に拡大することを目指す。**

4 農作業などの効率化による省エネ

高齢化や人手不足を背景に日々進化しているスマート農業技術を積極的に導入することにより、**作業の効率化によるCO₂の削減や、適正施肥によるN₂Oの削減、ピンポイント散布による農薬の使用低減等を目指す。**



ICTやAIの技術を取り入れ、人手やエネルギーのムダ、過剰な施肥、農薬の過剰散布等を防ぐ技術の開発にヤンマーは取り組んでいます。

5 農機の電化など、エネルギーの転換

2040年までに、**農業機械の電化および水素化などに関する技術の確立を目指す。**また、2050年までに、全ての園芸施設を化石燃料を使用しない施設へと移行する。

6 再生可能エネルギーの活用

農山村に豊富に存在する「バイオマス」や「太陽光」、「小規模水力」や「地熱」などの資源を活かした地産地消型の再生可能エネルギーを導入し、**農業活動で使用するエネルギーを最大限、再生可能エネルギーでまかなうことを目指す。**



滋賀県の(有)フクハラファームとヤンマーが共同で、開発に取り組んでいる「もみ殻ガス発電システム」。

7 農地への炭素貯蓄技術の推進

大気中のCO₂由来の炭素を、バイオ炭として農地土壌へ投入する技術の開発。また、堆肥や緑肥等の有機物の施用による土づくりの推進を通じて**農地等への炭素長期貯蓄を拡大・推進する。**

8 水田からのメタン発生を抑制する

水田の水管理によるメタンの削減。さらには、**メタンの発生が少ない稲品種の開発を推進する。**

9 取り組みの可視化等による消費者へのアプローチ

サプライチェーン全体でのカーボンニュートラルの「見える化」を徹底する。農産物へのラベリングなど、わかりやすく情報提供し、**消費者が脱炭素型の農産物・食品を選択するよう促す。**

出典:「脱炭素化社会に向けた農林水産分野の基本的な考え方について」/「農林水産分野における環境イノベーションについて」/「脱炭素化社会に向けた農林水産分野の取組~みどりの食料システム戦略~」/「みどりの食料システム戦略策定に当たっての考え方」[2050カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略] 農林水産省・環境省提出資料

カーボンニュートラルに対するヤンマーの取り組み

YANMAR GREEN CHALLENGE 2050



持続可能な農業を目指す
ヤンマーの
テクノロジー×ソリューション



カーボンニュートラルに向けて
個人や企業ができることは?
脱炭素社会への取り組みを解説





ヤンマーのサービスマンが行く!!

GO! GO! YANMAR SERVICE MAN

【ヤンマーのサービスの取り組み編】

大切な機械で春作業を快適に行うための

シーズン前の点検ポイント(トラクター)

長期間保管していた機械の点検・整備を、シーズン前(作業前)にしっかりと行うことで、トラブルを未然に防ぐだけでなく、忙しい春作業を安心して開始することができます。新たなシーズンを、安全に快適に作業していただくため、メンテナンスのプロであるヤンマーのサービスマンが、シーズン前のセルフ点検のポイントをご紹介します。



2021年度サービスコンテスト優勝者
北海道支社 上川推進部 旭川支店 古館 真也氏

点検作業を行う際は、取扱説明書をご確認ください。
ヤンマー製品の取扱説明書は、
HPからダウンロードしていただけます。HPはコチラ



シーズン前の点検は大切です。
格納前に問題がなくても
しっかりチェックしておくで安心です。

❶ なぜ、シーズン前の点検が大切なのですか?

Ⓐ 格納時に問題がなくても、長期保管している間にゴムやプラスチック製の部品、エンジンオイルや潤滑油は少しずつ劣化していきます。その結果、機械本来の性能が発揮できなかったり、それが原因で思わぬ事故や故障を引き起こす場合があります。そうならないために、使用前(シーズン前)に点検して早期に発見することがとても大切です。



汚れたオイル きれいなオイル

絶対に忘れないで欲しいのは、
「エンジンオイル」「グリスアップ」
「冷却ファンベルト」の3か所です。

❶ シーズン前に、行っておくべき点検箇所は?

Ⓐ まずは、エンジンオイルの点検です。これを怠ると、心臓部であるエンジンの調子が悪くなるだけでなく、複合的、連鎖的に各部で不具合が生じかねません。しかも目に見えないところで進行することが多いので気づいた時には手遅れになることもありますから、未然に防ぐという意味でも、シーズン前のタイミングでぜひ点検していただきたいです。次に、各部のグリスアップです。グリスが切れていると、破損や故障を引き



オイルゲージ

起こすこともありますので、このタイミングで注油しておくが良いですよ。もうひとつ、冷却ファンベルトの点検も重要です。冷却ファンベルトが傷むと、オーバーヒートの原因になりますし、切れたベルトが周囲に巻きついて新たなトラブルを引き起こす可能性があります。少しでも損傷を見つけたら、エラーサインが出ていなくても、サービスマンにご連絡ください。



冷却ファンベルト

電気系統のチェックポイントは、
「ライトやホーンの作動確認」
「バッテリーの確認」「ヒューズの確認」。

❶ 電気系統で点検しておくべきところは?

Ⓐ 日中に点検していると明るいので忘れがちですが、全てのライトやウィンカーを点灯してみると、ホーンを鳴らしてみてもお忘れなく! いずれも、いざという時に使えないと事故につながりかねないので、先回りしてチェックしておきましょう。バッテリーは、おそらく長期保管中は外していると思うので、取り付けなければなりません。その際は必ずプラスからつなぐようご注意ください。外す時はマイナスから、取り付ける時はプラスから、「- (ひき) 取る」「+ (たす) 付ける」と覚え

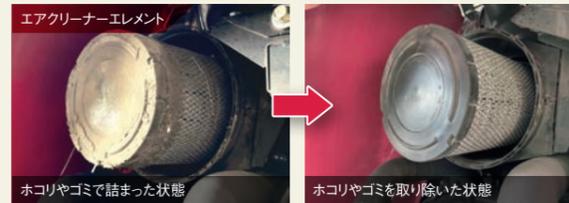


「- (ひき) 取る」「+ (たす) 付ける」

ていただいたらわかりやすいと思います。

最後にヒューズの確認ですが、切れていないかどうかを確認するついでに、ヒューズボックス内や端子周りのホコリや水分をエアコンプレッサーなどで取り除いておいていただきたいです。ホコリが原因でショートすることや、水分が原因で端子が腐食することがあります。

他にも、ラジエータやラジエータスクリーン、エアクリナーエレメントのホコリやゴミも同時に取り除いておきましょう。



エアクリナーエレメント

ホコリやゴミで詰まった状態

ホコリやゴミを取り除いた状態

操舵部分と足回りについては、
お早めの点検と、
サービスマンへのご相談をおすすめします。

❶ 操舵部分や足回りについて点検しておくべきところは?

Ⓐ 例えば、ハンドルを回しても戻らない。また、クラッチやブレーキのペダルの戻りが遅い、または軽すぎるなどの場合は、バネに問題があると考えられ、直すには分解が必要となります。もちろん、お客様ご自身で分解して修理していただいてもいいのですが、わからないままにやりすぎると他の部

位まで故障しかねません。「思ったのと違った」または「手に負えない」と思ったらぜひ、ご相談ください。

また、足回りについてはジャッキアップして確認しなければならないことが多いです。ジャッキアップには危険が伴います。ポイントを間違えると大きな事故につながることもあるので、少しでも不安がある場合はサービスマンに声をかけてください。

分解やジャッキアップが必要な修理については、工場に引き上げてから少々お時間をいただくことになります。お客様ご自分で点検される場合、スケジュールに余裕を持って実施いただければ、ヤンマーにご依頼いただいても、予定していた作業開始日を遅らせることなく作業を始めていただけますので、お早めの点検をおすすめしています。

サービスに心からご満足いただけるよう
故障の原因や修理の内容について
丁寧にご説明することを心がけています。

❶ サービスマンとして心がけていることは?

Ⓐ いつも心がけているのは、お客様に「サービスを受けて良かった」と心から思ってもらえるよう努めること。そのためには、故障の原因や修理の内容をしっかりとご説明してご理解いただくことが大切だと思っています。また、その結果、お客様が機械への理解を深めてくだされば、機械との付き合い方やメンテナンスのコツをつかんで、大切にお使いいただけることにもつながります。私どものお手伝いをきっかけに、機械により愛着を持ってより長くお使いいただければと願っています。

あんしんケアパック



新規ご購入時には、機械を知り尽くしたプロによる点検が5年間定額で受けられる「あんしんケアパック」へのご加入がおすすめです。

プロによる50か所以上の点検が受けられます。

※対象は本体機器のみです。作業機は対象外です。



HPはコチラ

トラクター点検箇所 50か所

走行部、操作部、キャビン部、コントロール部、油圧コントロール部など



クラッチペダルの遊び調整

コンバイン点検箇所 70か所

刈取部、脱こく部、電装品・自動化制御部、カッター部、ミッション・走行部など



刈刃への注油

田植機点検箇所 60か所

走行部、植付部、警報関連の作動確認など



プッシュロッドの点検

共通の点検箇所

エンジンオイル、エンジンオイルフィルタ、燃料フィルタ、ウォーターセパレータ、燃料ホース・燃料パイプ、エアクリナーエレメント、冷却水、ラジエータ・ラジエータホース、冷却ファンベルト、バッテリー、ヒューズ・配線、エンジンの始動確認、各部グリスアップ(注油)、作動確認

AFTER SERVICE SUPPORT (アフターサービス・サポート)

お客様の大切な機械をベストコンディションで末永くお使いいただくために、ヤンマーはアフターサービスに全力で取り組んでいます。

取り組みについての全貌はコチラから。



HPはコチラ



メーカー探訪 VISITING THE COMPANY

第12回 トンボ会メーカーや協力企業に、より親しみを持っていただけるよう知られざる一面や意外な素顔をご紹介します。

第7回までの内容は、トンボプラス10号～16号よりご覧いただけます。
第8回からの内容は、トンボクロスよりご覧いただけます。



トンボプラス HPはコチラ
トンボクロス HPはコチラ



次代に向けて進化しながら お客様のためのものづくりを ブレることなく追求。

キャニコム
福岡県うきは市

取材協力いただいた方



代表取締役社長
かねぬき よしみつ
包行 良光氏



最新の設備機器が導入された新工場「演歌の森うきは」。全体の工程を見渡せるレイアウトになったことで、社員間のコミュニケーションが活発化しているという。

時代を捉えた製品開発で 九州から世界へ羽ばたく

今回取材したのは、乗用草刈機などでトップクラスのシェアを誇るキャニコム(以下、同社)だ。福岡県の南東部に位置する人口3万人あまりのうきは市に本社を構え、世界53カ国と取り引きをされている。

同社は、1948年に「包行(かねぬき)農具製作所」として創業、乗用草刈機や農業用運搬車など時代のニーズに合ったものづくりを行ってこられた。現会長の包行均氏が2代目社長に就任されてからは、「草刈機MASAO」や「芝耕作」といった個性的なネーミングや斬新なデザインを採用し、新製品が開発されるたびに日刊工業新聞社主催の「ネーミング大賞」で大賞を受賞するなど、業界の注目を集めている。

1989年には、九州から世界へ進出するのを機

に、コーポレートカラーを青に、社名を「筑水キャニコム」へと改め、海外仕様の製品開発を本格始動。以降、北米や欧州を中心にシェアを順調に広げ、当時5%程度だった海外売上高比率は2022年で約60%までに至っている。



海外の展示会でも目を引く同社の製品。昨年はCANYCOM USAが20周年を迎えた。

2015年からは、海外事業を軌道にのせた包行良光氏(以下、包行氏)が3代目社長に就任。創業当時から徹底して「お客様のためのものづくり」を貫いている同社だが、2022年はさ

らに、経営、営業、製造などあらゆる目線からお客様の困りごとに共感する(Empathy)をテーマに、農作業の課題を解決する製品開発を目指している。

ただ1人の“ボヤキ”に 演歌の心でものづくり

同社には「ものづくりは演歌だ」というユニークなスローガンがある。「お客様からリクエストをもらって歌う“流し”が演歌の起源。当社のものづくりでも、お客様のご要望(リクエスト)に寄り添って商品開発を行うことを大切にしています」と包行氏。作業現場に行き、生の声を聞き、最後にポロッと出た“ボヤキ”を拾って開発に活かすのが何十年も続く同社のスタイルだという。例えば、2001年からのロングヒット商品である乗用四輪駆動の「草刈機MASAO」は、「もっ

と安全に、楽に草を刈りたい」というボヤキから生まれた。ペダル式で無段変速、さらにハードな現場でもパワフルに動く四輪駆動という、世界で初めての乗用草刈機だ。現会長から開発の号令がかかった時は、開発部から「無理だ」との声も上がったという。それでもあきらめず難題に挑めたのは、お客様との距離が近い現場主義が息づいているからだ。包行氏は「お客様のボヤキから生まれた製品だから、製品を持っていった時の笑顔が目に見えちゃいます。1台しか売れなくても、その1人のためだけでも、我々はつくりたいですね」と力を込める。

企画会議が盛り上がる 自由な発想を生む風通しの良さ

ものづくりにかける社内の熱意も、お話を伺ってわかる。新製品が完成した時には、現会長が製品に乗って社屋の前をパレードする「デビューコンサート」をよく行っていたそう。



新製品が誕生するとデビューコンサートを行い、全員で喜びを共有するという。

「小さな成功体験を積み重ねてきたので、『できないことでもやってみよう』という気持ちはベテランも若手も非常に強いですね」と包行氏。「いいものづくりはいい人材から生まれる」という考えをお持ちで、お客様のみならず、社員の“ボヤキ”も大切にしているという。例えば、包行氏自身が現場に出て社員一人ひとりの名前を呼んで話しかけ、コミュニケーションをとるというのだ。約300名いる社員の顔と名前が一致す



郷土であるうきは市の活性化を目指し、積極的に地元採用にも取り組んでいる。

るといふのだからすごい。「現場に空調がほしい」など、社員がポロッと漏らしたボヤキは、汲み取ってすぐさまスポットクーラーを設置する。新しいことに取り組むにも、決定の判断基準は「面白いが面白くないか。思いつきですよ」と明朗だ。そのため、発想が柔軟で企画から実行までが非常にスピーディだ。先日も企画会議で議論が盛り上がり、製品への新技術の導入が一度の会議で決定したという。

日頃のコミュニケーションが、ものを言える関係性を生み、それがユニークな製品を生み出すための発想や努力につながっているのだろう。取材に同席された社員のお2人と交わす冗談からも、風通しの良さはひしひしと伝わってきた。

新工場「演歌の森うきは」で 作業環境をアップデート

2021年8月には、新工場「演歌の森うきは」が始動した。最新の複合加工機や溶接ロボットなどが導入されて働きやすい環境が整い、同社のものづくりの体制は大きな転換点を迎えている。「技術の伝承はなくてもいいと思っています」と言い切る包行氏。「古い工作機械を使うには熟練の技術が必要ですが、それは最新機械で全てフォローできます。昔のやり方はやめて、快適にものづくりができる環境を追求しました」。効率化によって余裕が生まれたことで、これまで以上に社員一人ひとりが自ら考え工夫す

るようになったという。「社員が幸せじゃなければ、お客様を幸せにすることもできません」と語る包行氏。「社内には明るく、楽しい雰囲気が漂っていますが、製品に関しては厳しくつくりたい。そのメリハリは妥協したくないですね」。その真剣な表情からは、社員への思いやりの深さはもちろん、ものづくりでお客様の幸せを願う企業としての強い責任感もうかがえる。



スローガンが掲げられたPR看板。

顧客目線を追求した先に 農業機械の発展がある

今後のビジョンをお聞きすると、「電動化や水素燃料など、排ガス規制に向けた動きが活発化していますね。でも我々はまず、お客様の作業の省力化に重点を置いて開発を進めていきます」とお答えいただいた。農業が転換期を迎える中で、同社も生産性の向上に向けて舵を切った。一方で、一貫して「誰のための農機か」を追求する姿勢を崩さないのは、その先にこそ農業機械の発展への未来が拓けるという確信をお持ちだからだろう。ものづくりの原点を見失うことなく、「この片田舎に、社員が誰にでも自慢できる会社をつくりあげたい」と、「売上高100億円、100カ国取り引き、100年企業」を目指して力強く駆け上がる。

新工場「演歌の森うきは」で世界に羽ばたけ

同社は創業以来、お客様の課題を解決する製品づくりに情熱を傾けてきた。「1人のお客様のためだけでもつくる」というスタンスを貫く同社には根強いファンも多いが、反面、製品は多品種少量生産にならざるを得ず、生産効率が良いとは言えない。それでもお客様の期待に応えるために誕生したのが、迅速な生産を実現する新工場「演歌の森うきは」である。テーマは「鷹の目コミュニケーション」。ここには、鷹が空から地上を見るように、お客様のニーズを俯瞰的に捉えて見逃さない、という同社の意気込みが込められている。新工場を拠点に、鷹になって飛びまわり、世界に羽ばたいていく。



うきは市の豊かな自然を背に、広大な敷地に建設された「演歌の森うきは」。

栽培コストを抑えて土壌環境改善も!

子実とうもろこし栽培のススメ



子実とうもろこし栽培は管理が非常に省力的ということもあり、取り組み事例が増えています。また、収穫後の茎や葉をほ場にすき込むため緑肥としても利用可能ということで、農林水産省が発表している『みどりの食料システム戦略』における、有機農業の面積拡大に向けた技術としても期待されています。



今回は、「子実とうもろこし」の栽培メリットについてご紹介します。

知っておきたい、子実とうもろこし栽培のメリット

1 作業時間が他の作物に比べて圧倒的に少ない

子実とうもろこしは、耕起・播種作業の後の作業が除草剤散布と追肥程度で、収穫まで手のかかる作業がないため作業時間が少なくて済みます。



※出典 子実とうもろこし:「水田を利用した飼料用トウモロコシ栽培の可能性」
その他の品目:「経営所得安定対策の概要」農林統計

管理・防除作業の回数比較例

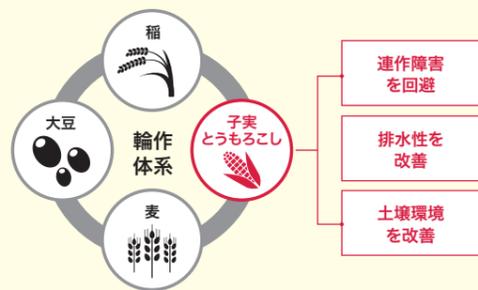
とうもろこしは草丈が大きくなると雑草に強いため、播種後の管理が少なくて済みます。

管理作業	大豆	小麦	子実とうもろこし
除草剤散布	4回	3回	2回
病害虫防除	3回	5~6回	1回
追肥	2回	2回	1回

※出典 「国産濃厚飼料の生産・利用に関する事例集(令和2年3月)」
一般社団法人日本草地畜産種子協会

2 輪作における新たな作物として有効

輪作において、稲作中心のほ場では排水性が悪く収量に課題がありました。連作障害を引き起こすような病害回避や排水性改善の面からも子実とうもろこしを輪作に加える事例が増加しています。



3 機械を兼用できる

トラクター用播種機や普通型コンバインなど、稲・麦・大豆と機械を兼用でき、償却費を削減できます。



収穫作業では、普通型コンバインを利用。

4 有機農業への第一歩として有効

収穫後の茎や葉をほ場にすき込むため、緑肥作物としての土壌の膨軟化、団粒化促進、養分供給など、土壌改良の効果が期待できます。

5 耕畜連携により環境負荷を軽減

耕種農家が収穫した子実とうもろこしを家畜が食べ、家畜の排せつ物を堆肥として活用する耕畜連携により、環境負荷を軽減できます。

子実とうもろこし 機械化体系例 ~生産拡大に向けて、トータルでの機械による効率化を提案~

排水対策 ブラソイラ (スガノ農機)	堆肥散布・施肥 マニアスプレッド (IHIアグリテック)	砕土・整地 パワーハロー (ミノス)	播種 真空プランター (KUHN)	鎮圧 ケンブリッジローラー (スガノ農機)
防除 トラクター用 フームスプレーヤー (丸山製作所)	収穫 普通型コンバイン YH150A + コーンヘッダー	乾燥 遠赤外線 汎用乾燥機 (山本製作所)	裁断 フロント・リヤ兼用 シュレッダー (KUHN)	耕起 ディスクティラ (ミノス)

カタログの PDF は コチラ



食品廃棄物を有効活用し、「資源循環サイクルモデル」を目指す

ヤンマーeスター株式会社

バイオコンポスター事業



写真は中央研究所

国内では年間およそ2,500万トンの食品が廃棄^{*1}され、その処理には多くのCO2を排出しています。また処理コストは年々増加傾向にあり、廃棄物への対策は、環境面・コスト面からも企業はもちろん、食の生産現場である農家にとっても喫緊の課題となっています。

ヤンマーeスター株式会社は、利用されずに捨てられている熱(未利用資源)を有効活用する外燃機関、「スターリングエンジン」を中心としたエネルギー変換事業を中心に、2005年に設立^{*2}されました。ヤンマーが掲げるブランドステートメント「A SUSTAINABLE FUTURE」実現に向け、2021年7月には食品廃棄物を有効活用する業務用バイオコンポスターを販売。「エネルギー変換」と「食料生産」の分野で持続可能な「資源循環サイクルモデル」の構築を目指しています。

※1:[出典]平成30年度の食品廃棄物発生量推計(令和3年4月27日環境省報道発表より) ※2:ヤンマーeスター(株)は2021年7月に、(株)eスター(2005年4月に設立)から社名を変更

食品リサイクルで持続可能な社会へ。ヤンマーが目指す「資源循環サイクルモデル例」



農業や食品加工の際の残さを効率的に減量・減容できる

バイオ式コンポスター

YC100

最大処理量 100kg/1日

YC100の詳細は
コチラから



- 菌(微生物)の働きを利用して、1日100kgの処理が可能^{*3}
- 24時間で減量率80%以上の処理能力(当社試験機・標準生ごみ使用時)
- 活性炭吸着方式の消臭装置で気になる臭いを抑制
- 処理物は完熟させることで土壌活性剤や堆肥として活用できる

※3:人や動物が食べられる状態のもの、消化されたものは、ほとんど投入可能(容器類は不可)ですが、投入できるものについては、営業担当にお問い合わせください。



野菜・果物の残さ処理に
お困りの方に最適!



本コーナーにたくさんのご応募をいただき、誠にありがとうございました！
今回採用された4名様のお写真とコメントを一部抜粋してご紹介いたします。
引き続き「読者の皆様の相棒」である農業機械の写真と相棒との思い出や
エピソードを募集しています。皆様のご応募お待ちしております！



ばるるさま

【トラクター YT225】
新車を購入しました。農業が続かなくても畑はある程度きれいにならなくてはいけませんので、30年は乗るつもりです。



こなもん待さま

【トラクター EG334】
毎年田植えが終わったら、田ごしらえを頑張ってくれたトラクターを洗車します。荒起こしから代かきまでの、約半年の作業のお礼も兼ねて、ピカピカにします！！



宮本庄吾さま

【トラクター YT345・EF224】
初めてトラクターに乗った時の笑顔。



秘密の刃さま

【トラクター AF650・EG453】
トラクターでトラクターを運びました！
ヤンマーのトラクターは、いつもパワフルに動いてくれます！

採用された方にもれなく
帽子をプレゼント！

写真が採用された方には「ヤンマーオリジナル帽子」をプレゼントいたします。応募メールにどちらかご希望の帽子を記載ください。



A

ニット帽
FYニットキャップ



B

キャップ
FYメッシュキャップ



(五十音順)

トンボ会メーカー
いち押し商品

TOMBO MAKER ICHIOSHI



トラクター作業機から周辺機器、農業設備・施設まで、
トンボ会メーカー各社から届けられた「新商品」「話題の商品」など
これはいち押し！といえる商品をご紹介します。

トンボ会 メーカー名

ヤンマーと、トンボ会メーカーを含む協力メーカーの
技術やノウハウによってこれからの日本農業に
プラスになるソリューションを提案いたします。

株式会社IHIアグリテック	三陽機器株式会社
株式会社アグリアタッチ研究所	静岡製機株式会社
アグリテックノサーチ株式会社	株式会社ジョーニシ
有光工業株式会社	スガノ農機株式会社
株式会社石井製作所	鋤柄農機株式会社
株式会社大竹製作所	株式会社スズテック
株式会社岡山農栄社	株式会社タイガーカワシマ
株式会社小川農具製作所	株式会社タイショー
金子農機株式会社	株式会社太陽
川辺農研産業株式会社	株式会社タカキタ
カンリウ工業株式会社	株式会社デリカ
キャニコム	株式会社藤木農機製作所
旭陽工業株式会社	松山株式会社
株式会社啓文社製作所	株式会社丸山製作所
小橋工業株式会社	株式会社やまびこ
株式会社ササオカ	株式会社山本製作所
株式会社ササキコーポレーション	和同産業株式会社

トンボマーク



TOMBOマークは一筆書きで表現した「トンボの体」と、無限大(∞)を形どった「目」によって構成されています。トンボの目は360°全方向が見え視野が広いことから「先見性」を、無限大は「大いなる発展の可能性」を表現しています。また、一筆書きの「トンボの体」は、トンボ会メーカーとヤンマーとの「つながり・一体感」を表現しています。

土づくり関連 [肥料散布]

GPSナビキャスト (重量計付) MGL604P/1204P



道路走行対応
灯火器などを
標準装備！

YTトラクターとの
ベストマッチポイント

GPS車速連動で、
速度に応じた高精度な
散布が可能！

重量計付きのスパウトタイプが登場！

- 重量計により、資材残量を可視化。残量が一定量以下になるとアラームで知らせるので、肥料追加タイミングを逃しません。
- 資材の減り方に基づき、散布量を自動補正^{※1}。高精度な散布ができます。また、作業履歴の自動記録が可能です。
- 車速連動・経路誘導・可変施肥機能を、標準装備しています。

型式	MGL604P	MGL1204P
適応トラクター (PS)	45~80	70~120
ホッパー容量 (L)	600	1200
散布幅 ^{※2} (m)	粒状:7~12 砂状:5~7	
毎時能力 (a/時)	粒状:170~720 砂状:120~420	
メーカー希望小売価格 (税込)	¥1,709,400	¥1,801,800

※1:砂状肥料などで次例を下回る場合、自動補正が正しく機能しない場合があります。
例:散布幅5.5m、作業速度6km/時、散布量40kg/10a
※2:散布幅は肥料の性状により変わります。

株式会社IHIアグリテック

畑作関連 [うね立て・マルチ]

キレーネロータリー
ダブル可変ハイカラ

AKR-HTH152-YL

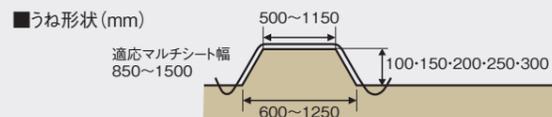


パットうね立て機構

うねの立ち上がり早く、最初の修正作業が簡単！

- 「パットうね立て機構」で、うねの立ち上がり距離が従来の1/3に^{※1}。
- 本機への装着が簡単な「カッチャンピン」を採用しています。※特許申請中
- ダブル可変機構で、可変ハンドル+整形機を約3度屈折できます。管理機では業界一の可変領域で、さらにベストな土寄せ調整が可能になりました。

型式	AKR-HTH152-YL
対応うね形状	平高うね
適応管理機	YK850MK・YK105MK
専用ハイマルチ ^{※2}	R318DE
メーカー希望小売価格 (税込)	¥308,000



※1:うねの高さ、土質条件によっては、さらに差が出ることもあります。
※2:専用ハイマルチはオプション(別売:105,820円税込)です。

株式会社アグリアタッチ研究所

応募方法

①~⑧の項目と、写真1枚~2枚を
tombo_cross@yanmar.comまで、メールでお送りください。

※メールの送信をもって、下記の「個人情報の取扱いについて」に同意したとみなしますので、あらかじめご了承ください。
※写真が採用された方には上記のアドレスからメールでご連絡いたしますので、迷惑メールと判断されないよう設定をお願いします。

- 宛先: tombo_cross@yanmar.com
- 件名: みんなの相棒
- お名前(ニックネームでも可)
- 写真の商品と型式名
- 希望する帽子
- 思い出やエピソード
- プレゼント送付先(氏名・住所・電話番号)



スマホで
アクセス



- メールアドレスを入力もしくは、二次元コードからアクセス
- 件名「みんなの相棒」と入力
- お名前、もしくはニックネームを入力
- 商品と型式名入力(例:トラクターYT488A)
- AかBのどちらかご希望の商品を入力
- 写真に関連するコメントをひと言お願いします
※写真だけの応募でもかまいません
- プレゼント送付先を入力
- 写真を添付※写真は1点につき10MB以内

③~⑦は
メールの本文に
入力ください。

各種の個人情報(氏名・住所・電話番号・メールアドレス)は、応募受付および当選者への連絡、プレゼント発送の連絡に利用いたします。当社は、原則として、ご本人への承諾なく上記の目的以外に個人情報を利用または第三者に提供しません。ただし、当社の個人情報の取扱い業務の一部または全部を外部委託することがあります。原則として本人に限り、「個人情報の利用目的」の通知、登録した個人情報の開示、訂正、追加または削除、利用停止、ならびに第三者への提供の停止を求めることができます。その他、ヤンマーグループ会社のプライバシーポリシーを確認いただき、内容にご同意の上、ご応募をお願いいたします。

個人情報の取扱いについて

畑作・飼料関連 [施肥同時播種]

クリーンシーダ

NTP-6AFP/8AFP



YTトラクターとの
ベストマッチポイント
高速作業&高精度
点播で作業効率が
格段に向上!



最大8km/hの高速播種で、作業効率が大幅アップ!

- 稲、麦、大豆、コーン、牧草など、幅広く対応しています。
- 「種子分離」と「放出」のダブル播種プレート採用で、欠株の少ない高速・高精度点播が可能です。
- 施肥部は車速連動モータを採用。ムラのない施肥を実現します。

型式	NTP-6AFP	NTP-8AFP
適応トラクター (PS)	60~	80~
条数 (条)	6	8
種子ホッパー容量 (L)	15×6	15×8
肥料ホッパー容量 (L)	140×2	160×2
適応種子	稲、麦、牧草、大豆、デントコーンなど	
メーカー希望小売価格 (税込)	¥4,400,000	¥5,610,000

※最大車速は株間設定や畑条件などによって異なります。

アグリテクノサチ株式会社

管理作業 [防除]

常温煙霧機ハウススプレー LVH-15CNH



ボタン1つで完全無人防除。時間を有効活用できる!

- 無人防除なので作業者に農薬がかからず安心です。
- 少量散布で湿度を上げにくく、病害虫の発生を抑えられます。
- 超微粒子で作物の汚れも目立たず、ハウス内を均一に散布します。
- 現在、使用できる薬剤の登録を拡大中です。

型式	LVH-15CNH
全長×全幅×全高 (mm)	フォガー部:572×418×716 コンプレッサー部:776×547×1010
モータ定格出力 (kW)	1.35
対象面積 (m ²)	~1500
タイマー (時間)	~6
常用吐出量 (mL/分)	50~55
メーカー希望小売価格 (税込)	¥810,590

※価格は2022年12月1日現在の価格です。

有光工業株式会社

畑作関連 [根菜類の搬送]

ベジコン

VBC1200B



運搬コンテナ、処理機への野菜の投入ならおまかせ!

- 最大3000kg/時の搬送能力(2Lたまねぎの場合)です。
- 投入高さは1350~1900mmの無段階調整が可能です。
- ハンドルにあるレバーを握って上下するだけで、投入高さの調整が簡単にできます。

型式	VBC1200B
全長×全幅×全高 (mm)	2850×670×1600~2150
機体質量 (kg)	68
作業能力 (kg/時)	2000~3000 ^{*1} (2Lたまねぎの場合)
モータ仕様	100V 200W
メーカー希望小売価格 (税込)	¥471,900

※1:作業能力は、角度により異なります。

株式会社岡山農栄社

畑作関連 [うね整形]

台形平うね成形機

KSHE-301 (R)



YTトラクターとの
ベストマッチポイント
土の抱き込みが少なく
作業負荷を低減!



うね形態の違う作物への対応が可能。汎用性が向上!

- 成形部ワンタッチ差込み機構(カチャスポ)で、成形部単体の脱着が簡単にできます。
- 土の抱き込みが少なく、作業負荷が低減される機構を採用しています。
- 安定性の良い広幅鉄尾輪の装備で、成形機本体の沈み込みを防止します。

型式	KSHE-301	KSHE-301R
適応トラクター (PS)	35~60	
うね数	3	
適応ロータリー幅 (mm)	1700~2000	
メーカー希望小売価格 (税込)	¥410,300	¥433,400

※価格は2022年12月1日現在の価格です。



株式会社小川農具製作所

稲作関連 [籾搬送]

GZシリーズGコン(スチール製)

GZ1L-BG3R



毎時14~18tの高排出力を発揮!

- ローリングキャスター付きで、大型でも1人でトラックへの積み降ろしが可能です。
- ホッパーは折りたたみ式で、コンパクトに収納できます。
- フレキシブルホースで、後方180度排出が可能です。

型式	GZ1L-BG3R
全高×全長×全幅 (mm)	1400×2800×1500
本体質量 (kg)	280
所要電力	三相200V 0.75kW+1.5kW
容量 (L)	3700(コンバイン80袋)
メーカー希望小売価格 (税込)	¥688,600

株式会社石井製作所

稲作関連 [籾すり精米機]

籾すり精米機

PM1500R



籾置台設置例

1台2役、籾すり・精米作業がこの1台でOK!

- 籾を投入するホッパー部(高さ540mm)を大幅に下げ、籾置台(高さ300mm)を新たに標準装備し、籾投入の労力を大きく軽減しました。
- 籾置台は、ホッパーの前、横どちらにも設置可能。また、籾投入部のフタとして収納ができます。

型式	PM1500R
全長×全幅×全高 (mm)	985×675×1225
機体質量 (kg)	98
搭載モータ	三相200V/1.5kW
ホッパー容量 (kg)	籾:8 玄米:6
作業能率 (kg/時)	籾:100~140 精米:100~120
メーカー希望小売価格 (税込)	¥357,500

株式会社大竹製作所

稲作関連 [穀物乾燥(籾・麦)]

遠赤外線乾燥機 NEWレボリューション

KWC350-XN



SA
SMARTASSIST
連携対象機種

高品質な仕上がり
営農プロ仕様乾燥機!

- 遠赤全粒照射で一粒一粒を均一に乾燥します。汎用乾燥機として用途の拡張も可能です。
- 左右側板にはラッチ式点検蓋が付いており、ラクに掃除・点検が行えます。
- 機体全高が約60mm低くなりました(当社比)。

型式	KWC350-XN
全長×全幅×全高 (mm)	3389×1505×4180
処理量 (kg)	籾:800~3500 ^{*1} 小麦:960~4200 ^{*2}
毎時乾減率 (%/時)	籾:1.0~1.2 小麦:0.8~1.0
メーカー希望小売価格 (税込)	¥2,517,900 ^{*3}

※1:560kg/㎡時 ※2:680kg/㎡時
※3:据付工事費込みです。

金子農機株式会社

土づくり関連 [硬盤破砕]

カワバイブロスーパーソイラー SV2-BD



YTトラクターとの
ベストマッチポイント
最適な作業速度で
スムーズ作業!

作業速度1~3km/h。高能率な
土づくりが可能!

- 畑・ハウスの硬盤(心土)破砕に活躍。パイロロ方式で、50cmの深さまで一挙に破砕できます。
- 土を抱えて上下振動し、深層まで破砕。排水性・透水性を大幅に改善します。
- オプションの交換で、野菜(さといも、かんしょ、だいこんなど)の収穫も可能です。

型式	SV2-BD
適応トラクター (PS)	30~40
全長×全幅×全高 (mm)	900×1400×1200
機体質量 (kg)	230
最大耕幅 (mm)	1300
最大耕深 (mm)	500
メーカー希望小売価格 (税込)	¥567,600

川辺農研産業株式会社

稲作関連 [精米・石抜]

石抜精米機

SR3770RD



動画はコチラ



驚異の高効率と他を圧倒する低温精米力!

- 最速の精米を低温で仕上げ、お米に加わる負担を軽減します。
- 専用開発の大型ローラーと除糠アミを採用し、強力吸引ファンと大型サイクロンを組み合わせることにより、低温精米のみならず糠切れの良さを実現します。

型式	SR3770RD
全長×全幅×全高 ^{※1} (mm)	730×920×1620
機体質量 (kg)	177
搭載モータ	三相200V/3.7kW(精米機)100W(石抜)150W(揺籠)
精米能率 (kg/時)	320
装備	センサー自動停止、石抜部金属除去装置
メーカー希望小売価格 (税込)	¥902,000

※価格は2022年12月1日現在の価格です。
 ※1:サイクロン取付幅は1350mmです。
 ※オプションで、米乗せ台¥19,800 (税込)もご用意しています。

カンリウ工業株式会社

管理作業 [草刈り]

りんごブラスサムまさお

CM2205HCS



居住性の高い果樹園向けシンプルモデル!

- 850mmの低い車高で、枝下の通り抜けがスムーズにできます。
- 刈刃交換により、草刈りシーズンに合わせて刈幅変更が可能です。
- エンジンベース開閉機構を装備し、メンテナンス性が向上しました。

型式	CM2205HCS
全長×全幅×全高 (mm)	1920×1040~1100×850 ^{※1}
刈幅 (mm)	915/975 ^{※1}
刈高さ (mm)	10~75 (移動時100)
作業能率 ^{※1} (m ² /時)	6780/7223 ^{※1}
メーカー希望小売価格 (税込)	¥935,000

※1:セットの刈刃変更により変動します。

キャニコム

稲作関連 [代かき]

サイバーハロー

TXFシリーズ



YTトラクターとのベストマッチポイント

最適な作業速度に無段階調整ができ、作業効率アップ!

動画はコチラ



砕土性がアップする加圧機構により作業を効率化!

- リモコンのボタンを押すだけのワンタッチ操作で、エプロン加圧機構の切入が可能です。
- 連結部のクラッチにクッションラバーを採用。クラッチの消耗と作業中の音を軽減します。

形式	TXF355	TXF385	TXF415
区分	0S/4S	0S/4SD/0L/4L	
適応トラクター (PS)	30~54	30~60	37~60
全長×全幅×全高 (mm)	1240/1430×3580×1610	1240/1430/1270/1670×3850×1610	1240/1430/1270/1670×4150×1610
機体質量 (kg)	468~504	487~551	510~574
格納幅 (移動時) (cm)	2160		
メーカー希望小売価格 (税込)	¥1,537,800~1,635,700	¥1,673,100~1,811,700	¥1,809,500~1,947,000

※1:全幅は作業時、全高はサイバーハンド取り外し時の数値です。
 ※2:質量はスタンドなしの場合です(スタンド質量18kg)。

小橋工業株式会社

畑作関連 [うね立て・マルチ]

うね立て(マルチ) パワーだいち

STPR1CD/STPR1CDM



YTトラクターとのベストマッチポイント

直進アシストで、誰でもまっすぐにキレイな仕上がりが

動画はコチラ

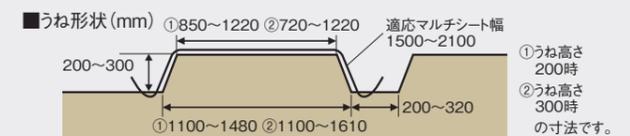


業界初の45馬力対応 センターロータリー整形機!

- 新型ミッションの採用などにより、中型トラクターに対応します。
- 従来よりさらに高速・高効率な作業が可能です。
- 交換時期がひと目でわかる「センサー爪」を採用しています。
- オプション併用で同時作業が可能。省略化に貢献します。

型式	STPR1CD (整形仕様)	STPR1CDM (整形マルチ仕様)
適応トラクター (PS)	30~45	
全長×全幅×全高 (mm)	1100×1560~2180×1100	1880×1700~2300×1100
メーカー希望小売価格 (税込)	¥1,740,200~1,798,500	¥1,949,200~2,007,500

※価格は2022年12月1日現在の価格です。



株式会社ササオカ

畑作関連 [うね立て・整形]

1連溝底整形機 ねぎ丸くん

KTA-MS02



フワ盛り土

3連での作業

YTトラクターとのベストマッチポイント

無段階変速により、ほ場に最適な速度で作業が可能!

動画はコチラ



定植に最適な溝底整形が、乗ってラクにでき作業効率アップ!

- ねぎ丸くん2連溝底整形機との併用で3連溝底整形機として1度に3本の溝底整形が可能。さらに作業効率がアップします。
- 定植用の溝底に車輪跡を残すことで、中央部にフワ盛り土(やわらかい土)が残り、定植作業がラクに行えます。
- 整形板の全面に樹脂板を採用。土の流れが良く、トラクターへの負担も少なくラクにキレイに仕上がります。

型式	KTA-MS02
適応トラクター (PS)	10~
全長×全幅×全高 (mm)	430×430×470
機体質量 ^{※1} (kg)	22
メーカー希望小売価格 (税込)	¥126,500

※1:オプションを除きます。

旭陽工業株式会社

稲作関連 [育苗]

育苗ローラー

IR-Wシリーズ

育苗ローラーミニ (IR-W750)



密苗対応!

動画はコチラ



作業範囲を拡大する、延長パイプをオプションで追加可能。延長パイプを同梱した割安セットもご用意しています。

750mm幅のミニタイプが新登場!さらに扱いやすくなりました。

- ミニ (IR-W750)・ジュニア (IR-W1000) は、ローラー横幅が短小規模スペースで扱いやすいため、女性や幅広い年齢の方に快適に作業いただけます。
- 徒長しやすく病気が発生しやすい密苗も丈夫に育てます。
- 育苗箱、横2枚・縦4枚を1度で作業できます (IR-W1250)。

型式	IR-W1250	IR-W1000	IR-W750	
タイプ	標準	ジュニア	ミニ	
ローラー	横幅 (mm)	1250	1000	750
	径 (mm)	φ220		
柄	長さ (mm)	2200	2000	1500
	調整	5段階		
機体質量 (kg)	17	16	12	
メーカー希望小売価格 (税込)	¥40,700	¥37,400	¥35,200	

※価格は2022年12月1日現在の価格です。

株式会社啓文社製作所

管理作業 [草刈り]

マルチインプラメント ブームマスターZ

BMZ100DX-MF09/200DX-MF10



道路走行対応 灯火器などを標準装備!

YTトラクターとのベストマッチポイント

無段階変速だから負荷に応じて最適な作業速度に簡単に変更できる!

動画はコチラ



ブーム先端の付替えて、多用途に活用できる!

- 左前刈作業だから刈取部が視認しやすく快適に作業ができます。
- 水平折りたたみでコンパクトに格納でき、後方視界が良好です。
- ワンアクションで簡単にホームポジションへ、自動展開・格納ができます。
- センサーが負荷を感知して本体を守るセーフティ機能付きです。

型式	BMZ100DX-MF09	BMZ200DX-MF10
適応トラクター (PS)	35~75 ^{※1}	75~135 ^{※2}
全長×全幅×全高 (mm)	1050×1810×1120	1200×2250×1420
刈幅 (mm)	900	1000
刈高さ (mm)	10・40・80 (3段階)	
リーチ (m)	水平 3.6・下45° 1.9	水平 4.5・下45° 3.0
メーカー希望小売価格 (税込)	¥3,091,000~3,190,000	¥4,356,000~4,455,000

※1:適応トラクター重量1800kg~ ※2:適応トラクター重量2500kg~
 ※フレールモアアタッチ付き。際刈アタッチMSC50は別途販売。

株式会社ササキコーポレーション

管理作業 [草刈り]

ツインモアー

ZM-3709S(DS)



YTトラクターとのベストマッチポイント

無段階変速により、高精度な草刈りを実現!

動画はコチラ



ロングリーチで快適作業。トラクター用アーム式草刈機。

- 操作は1本レバーで簡単に行えます。レバーはフィンガータッチのため、長時間作業も快適です。
- 4つのアーム位置(右サイド・右後方・後方・左後方)により用途に合わせた草刈りができます。
- 地面の凸凹に追従するフローティングリンクを採用。刈高さが安定し、精度の高い作業が可能です。
- 公道走行対応型式 (DS) もお選びいただけます。

型式	ZM-3709S	ZM-3709SDS
適応トラクター (PS)	35~	
刈幅 (mm)	900	
刈高さ (3段階調整) (mm)	30・55・80の3段階	
リーチ (2段階切換) (mm)	3700 (最大4200)	
メーカー希望小売価格 (税込)	¥1,455,300	¥1,582,900

三陽機器株式会社

稲作関連 [穀物乾燥 (籾・麦 など)]

汎用遠赤外線乾燥機 TCZ TCZ-EX100DV



TCZ
Toughness タフネス
Compact コンパクト
the Zenith 「頂上」へ
SMARTASSIST
連携対象機種

子実コーン乾燥に対応した
汎用モデルが登場!

- インバーター搭載のモーターで穀物をやさしく運びます。
- 強度と耐久性を兼ね備えた強化部品を搭載しています。
- 側板の取り外しができるので、乾燥機の内部まで簡単に掃除ができます。
- 高所作業台、垂直梯子ガードで、高所作業時の安全性が向上します。

型式	TCZ-EX100DV
全長×全幅×全高 (mm)	3394×1663×8300
処理量 (kg)	籾:900~10000 小麦:1080~10900 大豆:1800~9800 そば:2000~10000 コーン:2500~8600
毎時乾減率 (%/時)	籾:0.6~0.8 小麦:0.6~0.9 大豆:0.2~0.4 そば:0.4~0.6 コーン:0.5~0.7
メーカー希望小売価格 (税込)	¥4,499,000 ^{*1}

※1:据付工事費込みの価格です。

静岡製機株式会社

畑作関連 [肥料散布]

サンソワール G/V-R10N-3(RT-5)



Yトラクターとの
ベストマッチポイント
車速に合わせた均一
散布で作物の生育
が安定!

うね立てやマルチと同時に肥料散布が可能!

- ロータリー幅2000mmまで対応。作業効率がUPLします。
- 耕うんや、うね立て・マルチと同時に施肥ができるため、作業時間を大幅に短縮でき、燃料も節約できます。
- うね立て同時施肥でうねの中だけに肥料を散布するため、ムダな散布がなくコストダウンを図れます。

型式	G-R10N-3(RT-5)	V-R10N-3(RT-5)
容量 (L)	100	
散布口数 (本)	6(3×2ホッパー)	
散布幅 (mm)	1200×2000	
装着方法 ^{*1}	駆動軸パイプ取付	
備考	車速連動付き	車速連動なし
メーカー希望小売価格 (税込)	¥324,500	¥236,500

※価格は2022年12月1日現在の価格です。
※1:ロータリー型式により取付金具が異なります。

株式会社ジョーニシ

畑作関連 [調製]

新玉ねぎ調製機 RTC3600



動画はコチラ
QRコード

たまねぎ調製作業の省力化をお手伝い!

- たまねぎを投入すると、根と葉を押しさえて自動でやさしくカットします。
- 部品の着脱・調節により、「未乾燥の青切りたまねぎ」・「乾燥たまねぎ」のどちらの調製も可能です。
- 様々な形状・サイズのだまねぎに対応できます。

型式	RTC3600
全長×全幅×全高 (mm)	1190×610×730
機体質量 (kg)	75
最大作業能率 (個/時)	3600
メーカー希望小売価格 (税込)	¥550,000

株式会社スズテック

稲作関連 [フレコン計量]

フレコン自動計量機 フレコンメイト FS-1203シリーズ



動画はコチラ
QRコード

作業場高さ3mで設置可能。
コンパクトサイズの自動計量機!

- 縦型タンク一体型のため、作業場の一部に3mの高さがあれば設置できます。
- 予測計量方式で、正確に計量できます。
- ご要望に合った1台をお選びいただけるよう、「U字はかり」や「検定付はかり」、「プリンタ付はかり」などを取り揃えています。

型式	FS-1203シリーズ
全長×全幅×全高 (mm)	880×960(1210)×2850 ^{*1}
処理能力 (kg/時)	玄米:1800~2400(30~40俵) ^{*2}
昇降機能力 (kg/時)	玄米:3600(60俵)
使用電源 (V)	本体:三相200V・はかり:100
モーター出力 (W)	200
秤量/計量精度 (kg/kg)	1200/±0.5 ^{*3}
メーカー希望小売価格 (税込)	¥748,000~1,672,000

※1:全幅()内は増量タンクを含む寸法です。
※2:処理能力はフレコンバグの交換時間により変動します。
※3:実際の計量は、はかり単体の精度±0.5kgも加わります。
※運搬具2本(U字はかりタイプのみ)、残留米排出シャッター付きです。

株式会社タイガーカワシマ

土づくり関連 [耕うん・耕起]

浅耕リバーシブルプラウ R125AACP・R126AACP



道路走行対応
灯火器などを
標準装備!

Yトラクターとの
ベストマッチポイント
ホイールでもクローラでも、
良好な作業が可能!

動画はコチラ
QRコード

R126AACP

浅耕で反転性に優れた丘溝兼用リバーシブルプラウ!

- ワイドで高速な反転耕起がロータリー感覚で行えます。
- 浅耕でも反転すき込み性に優れ、土壌条件を選びません。
- 土の移動と高低差が抑えられるので、均平作業の時間を短縮できます。

型式	R125AACP	R126AACP
適応トラクター (PS)	60~90	80~120
全長×全幅×全高 ^{*1} (mm)	3750(3630)× 2010(2040)×1600	4360(4230)× 2220(2280)×1600
機体質量 (kg)	895	980
作業幅 (mm)	1530	1830
作業深 (mm)	120~180	
作業能率 (分/10a)	7~11	6~9
メーカー希望小売価格 (税込)	¥2,860,000	¥3,102,000

※1:()は作業時の寸法です。

スガノ農機株式会社

畑作関連 [うね立て・マルチ]

スーパー2畦マルチ PH-D213MA2

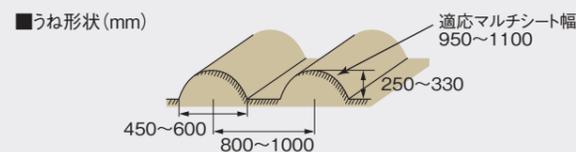


Yトラクターとの
ベストマッチポイント
無段変速で最適速度
設定でき、キレイ
なうねづくりができる!

2うね同時にうね立てマルチで高能率化!

- マルチ装置は、アームが独立しているので容易に調整ができます。
- 安定ローラーの採用で、マルチの裏表を気にせずにキレイにマルチが行えます。
- 新開発のプラウ爪(SPT-J)と整形用に配置した爪で、低馬力でも作業が可能。作業速度もアップしました。

型式	PH-D213MA2
適応トラクター (PS)	23~33
全長×全高×全幅 (mm)	1600×1800×1000
機体質量 (kg)	295
適応マルチシート幅 (mm)	950~1100
メーカー希望小売価格 (税込)	¥1,074,260



鋤柄農機株式会社

稲作関連 [苗箱並べ]

苗箱並べ機 ベルノ BW-Aシリーズ



動画はコチラ
QRコード

苗箱並べの新基準。軽労化と効率化をこれ1台で実現!

- 苗箱を機械にセットするだけで、効率良くキレイに並べることができます。
- 春先の苗箱並べ作業の身体への負担を軽減し、作業性を大幅に向上します。

型式	BW-2A	BW-3A	BW-4A
機体質量 (kg)	115	143	220
作業能力 (連続作業時) (箱/時)	600~1200	800~1600	900~1800
電源	自動車用バッテリー(55B24R)		
動力(直流モーター)	DC12V/77W		
オプション	ポリマルチ取付金具・マーカー		
メーカー希望小売価格 (税込)	¥397,100	¥493,900	¥818,400

株式会社タイショー

畑作関連 [薬物・軟弱野菜の袋詰め]

野菜類袋詰め機 VF810



ほうれんそう・小松菜などの
袋詰めにさらにスピードアップ!

- 3段階の本体高さ調節により、作業者の疲労を軽減。作業効率がアップします。
- 洗浄後の濡れた野菜でも袋詰めができます。
- 袋への投入深さがワンタッチで設定できます。
- 暖気運転スイッチを装備。寒冷地でも快適に作業ができます。

型式	VF810
全長×全幅×全高 (mm)	670×500×930
適応袋寸法 (mm)	幅180~280 ^{*1} ・長さ280~450
袋セット数 (枚)	最大200
作業効率 (袋/時)	800(実作業600)
メーカー希望小売価格 (税込)	¥715,000

※価格は2022年12月1日現在の価格です。
※1:袋幅180~200mmの場合、専用シュートが必要になります。

株式会社太陽

飼料作関連 [刈取・梱包]

汎用型微細断飼料収穫機 SMR1030+SMR-MH5



動画はコチラ



微細断&高密度梱包!高品質サイレージづくりに。

- スプロケットの交換により、切断長を4段階に調整できます。
- 新設計マルチヘッダの採用で、従来以上の刈取性能を実現しました。
- ロール放出スイッチをシフトレバーに追加。手動操作の際、レバーから手を放すことなくロールの放出が可能です。また、コントロールボックスにはバックライトを採用し、いつでも見やすく操作性が向上しました。

型式	SMR1030+SMR-MH5
全長×全幅×全高 ^{*1} (mm)	6550×2200×2800
機体質量 ^{*1} (kg)	5430
作業幅 (cm)	180
ペール寸法 (cm)	φ100×85
理論切断長 (mm)	6 / 11 / 19 / 29
メーカー希望小売価格 (税込)	SMR1030(本体):¥21,945,000 SMR-MH5(マルチヘッダ): ¥2,695,000

※1:マルチヘッダ付きの値です。

株式会社タカキタ

土づくり関連 [堆肥散布]

牽引マルチスプレッダ DMS-1105WS



道路走行対応
灯火器などを
標準装備!

Yトラクターとの
ベストマッチポイント

最適な速度設定で作
業効率アップ!

各種肥料・堆肥の少量散布などマルチに活躍!

- 混合堆肥複合肥料と指定混合肥料、土壌改良剤の少量散布が可能。散布量はリモコンで調節ができます。
- 両サイドのアオリが倒れるので積み込み作業と清掃がラクにできます。また、サイドステップが付いているので安全に積み込み作業が行えます。
- 小回りが利くステアリング車軸を採用しています。

型式	DMS-1105WS
適応トラクター (PS)	15~30
全長×全幅×全高 (mm)	3855×1350×1550
機体質量 (kg)	720
最大積載質量 (kg)	1000
メーカー希望小売価格 (税込)	¥1,925,000

株式会社デリカ

管理作業 [防除・除草剤散布]

キャビンハイクリブーム BSA-2000C



散布効率を重視した2000Lタンクのハイクリ!

- 2000Lタンクなので一回の散布面積が増加。給水作業が削減でき作業効率が向上しました。
- 21.9mの散布幅と最大7.0kmの高速散布で、効率的な防除が可能です。
- 視界性に優れたキャビンで、快適に作業ができます。
- 公道走行可能。コンパクトなので3.5tトラックに積載することも可能です。

型式	BSA-2000C
全長×全幅×全高 (mm)	6200×2200×2970
機体質量(乾燥質量) (kg)	2630
エンジン出力 (kW(PS))	43.2[58.7]
ポンプ吸水量 (L/分)	220
タンク最大容量 (L)	2000
散布幅 (m)	13.5~21.9
メーカー希望小売価格 (税込)	¥17,930,000

株式会社丸山製作所

管理作業 [枝打ち・伐採]

チェーンソー CSA341/35H25



動画はコチラ



オートチョークで簡単エンジン始動!

- エンジンの始動は、「①プライミングポンプを数回押す」→「②チェーンソーを固定してスタータロープを引く」の簡単2ステップで行えます。
- 安全性と使いやすさに、パワーを兼ね備えています。

型式	CSA341/35H25
本体乾燥質量 (kg)	3.8
排気量 (cm ³)	34.4
ガイドバー長さ (cm)	35
バー形状	ハードノーズバー
メーカー希望小売価格 (税込)	¥70,400

株式会社やまびこ

畑作関連 [うね立て・マルチ]

平高うねロータリーマルチ ウルトラハッスル TFRH150M/180M



Yトラクターとの
ベストマッチポイント

簡単な調整で、簡単
にうね立て!

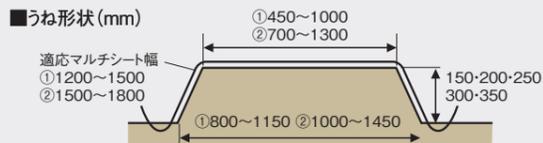
動画はコチラ



野菜づくりに最適なうね立て作業を、より早く簡単に!

- うね高さ150~350mmまでのマルチ作業が可能!水はけの良い畑はもちろん水田あとも、これ1台で対応できます。
- 全型式に軸止め金具を装備。作業機への負担となる振動を軽減します。
- ほ場条件により、標準仕様と爪仕様をお選びいただけます。

型式	TFRH150M	TFRH180M
適応トラクター (PS)	18~35	
メーカー希望小売価格 (税込)	¥629,200~643,500	¥649,000~663,300



※①TFRH150M、②TFRH180Mの寸法です。

株式会社藤木農機製作所

稲作関連 [あぜ塗り作業]

オフセットタイプあぜ塗り機 AUZ05シリーズ



Yトラクターとの
ベストマッチポイント

なめらかな変速で、
まっすぐキレイなうね
ができる!

動画はコチラ



進化した上面ローラーとディスクで、さらに硬いあぜが形成できる!

- 従来機と比較し、あぜ上部で最大44%硬度がアップしました。
- 新階段カットのアップカットロータリーを採用。作業振動を大幅に低減できます。
- カラー液晶画面搭載の次世代新型リモコンで、設定がラクラク。ニプロビジョンにも対応しています(N仕様のみ)。

型式	AUZ305(355)C AUZ305(355)JC AUZ305(355)NJC		
	OS	OS	OS
適応トラクター (PS)	25~60		
機体質量 ^{*1} (kg)	327(332)	354(360)	356(361)
適応元あぜ高さ (cm)	19~24/最大29 (24~29/最大34)		
作業能率 (分/100m)	6~15		
メーカー希望小売価格 ^{*2} (税込)	¥880,000	¥968,000	¥1,078,000

※1:スタンドなしの質量です。 ※2:355は¥22,000(税込)アップとなります。
※()内は355の数値です。 ※YT3R直進アシスト仕様トラクターでは、RTKアップグレードキット(オプション)での作業を推奨しています。

松山株式会社

稲作関連 [穀物乾燥(粳・麦)]

汎用遠赤乾燥機 ウィンディビルドシリーズ HD-80VDM



1台5役の
汎用乾燥機に、
待望の大型シリーズが
登場!

SA
SMARTASSIST
連携対象機種

- 粳・麦・大豆・そば・コーンの乾燥を標準搭載しています。
- 自動調質乾燥運転「おまかせ乾燥」により、高精度な乾燥作業と高品質米の生産をサポートします。
- 風胴の掃除口を改良し、掃除やメンテナンスがラクに行えるようになりました。
- HD-VDMシリーズは、60・70・80石のラインアップを取り揃えています。

型式	HD-80VDM
全長×全幅×全高 (mm)	3470×1575×6900
処理量 (kg)	粳:1100~8000 ^{*1} ・小麦:1350~9700 ^{*2} 大豆:2350~8000 ^{*3} そば:1900~8000 ^{*4} コーン:1500~10000 ^{*3}
毎時乾減率 (%/時)	粳:0.7~1.0(ふつう)・0.8~1.2(はやい) 小麦:0.7~1.3(ふつう)・0.9~1.4(はやい) 大豆:0.1~0.4、そば:0.2~0.8、コーン:0.5~1.0
メーカー希望小売価格 (税込)	¥4,400,000 ^{*5}

※1:560kg/m³時 ※2:680kg/m³時 ※3:700kg/m³時 ※4:600kg/m³時
※5:据付工事費込みです。

株式会社山本製作所

管理作業 [草刈り]

乗用フレールモア BM21F



乗って、刈って、ラクしてキレイに!

- 4WDで高い走破性を実現。リヤステアリングで小回り性も良好です。
- 刈幅はワイドな1200mm。高強度ナイフの採用で、切れ味が持続します。
- 刈取部は地面の隆起に追従し、刈跡がキレイに仕上がります。また、スイッチを押すだけで刈取作業部の昇降ができ、洗浄や点検に便利です。

型式	BM21F
全長×全幅×全高 (mm)	2520×1470×930
機体質量 (kg)	485
刈幅 (mm)	1200
作業能率 (a/時)	72
メーカー希望小売価格 (税込)	¥1,705,000

※価格は2022年12月1日現在の価格です。

和同産業株式会社